

パストラルリーダーのための  
実践的知恵

## 1. 支配せず、導け。

テモテへの手紙二 2 : 24、25、ペトロへの手紙二 : 24-27

規則をつくって人々を支配するというやりかたは、牧師にとって非常に強い誘惑である。これは、しばしば自信と知識の不足、または人々の成長に関する短気から生ずる。

例えば、男女学生数名が共同で借家をする、教会によってはこれを規則で取り締まる。男女共同で借家をしてはならない、などという教会の規則である。

このやり方では、人を変えることはできない。規則を作り、人々がそれに従うならば、彼等は自分の正しさではなく、牧師の正しさにより歩むことになる。それは、体制に順応する者か、反抗者いずれかを生み出すことになり、人の内からの変化を生み出すことはできない。選択の自由を取り上げることが、神における自律性を取り上げることになる。コリント人への手紙で、パウロは、彼等の信仰を支配することはしないと書いている。規則をつくると、人はそれに逆らいたくなる傾向がある。

私たちの任務は、知恵をもって助言し、悪い選択から生ずる結果を示すことである。次のように忠告するとよい。『君たちは男女共同で借家をすることから生ずる誘惑に抵抗できるかも知れない。しかし、君たちの行動は、弱いものたちに前例を作ることになるだろう』。

人は規則よりも賢明な助言に従うものだ。あなたの賢明さから、あなたの権威を認めるようになる。イエスは、私の主になる前に、私の賢明さになった。イエスの叡智がわたしのそれをはるかに超えるものであることを見取った時、私は彼の権威にひざまずいた。

規則を作るとすぐさま、人はそれを破りたくなる。これは人間の罪深い性質から生ずるものである。ローマの信徒への手紙にも『罪は掟によって機会を得る』とある。それよりも、『これは良い方法です』という言い方をするほうがよい、会計士協会の言い方では、『これは推薦の指標である』。

新約、神とその民の間の新たな契約は、内なる変化をもたらす聖なる『教え』であり、これと対照的に、旧約は『律法』一背けば罰が当たる！のだ。私たちは、人々の内からの反応をもたらすような、教え方をしなければならない。御言葉と叡智が、彼等の心に書き記されるのだ。

ある年齢以下の子供は規則を課されねばならないが、これが十代に達し、大人になりかけると、変わって来る。手放さねばならないときがきている。もちろん、これは難しい。彼等は、自分の正しさの基盤を見出さねばならない。これ迄は、あな

たの正しさの基盤が、彼等に確かな足場を与えていた。あなたの正しさから彼等が離れるとき、これは親にとって非常に辛い経験だ。あなたの好みと全く離れたことをさせてやる必要があるかもしれない。しかし、この変化を許可することが、非常に重要である。（多くの祈り、そして その機会に与えられる神の愛と共に）。

法は、順応者か反抗者しか生み出せない

ここであなたが手を放さないならば、クローン、順応者、あるいは反抗者を作り出すことになる。これは教会全体にもあてはまることである。規則をつくれれば、外面だけは進歩しているように見えるが、内面はキリストの似姿からはるかかけ離れた順応型の教会を作り出すことになる。

新約が目指すのは内面の変化である。

何年前か前、私はある信仰深い男性の手紙を読む機会を得、非常に参考になった。（死後出版された書簡集である）彼に宛てた手紙の中で、本当のキリスト者にふさわしくない行動が信者たちの間に見られることが多すぎると文句をのべた箇所があったのだ。

この信仰深い男性はこのように答えた。『私もこれまで何度もそのような矛盾について考えあぐね、主に問うた。私の考える最善の方法は、

1. いかにして神の前に正しく生きるか、聖書を探す
2. 神の力により、できるだけ主の言葉を行動に現す。
3. 人々に主の言葉を行動に表すことを教える。
4. 直接人々の生活の中で神に御言葉を注ぎ込んでもらう。

これ以上のこと、例えば、『この教会の信条』のような規則や道徳規範を持って来るとなると、それは真実よりも狭いもの、派閥やしがらみをつくってしまう。

優しさは忍耐を要する。短気な牧師は規則を作りがちだが、忍耐と優しさとは、徐々に変化が起こる間羊飼いは砂漠の中も彼の群れとともに歩むことを意味する。この間、彼は自分の欠点をも顧み、羊の身になって考えることが必要である。

あなたと教会の人々は、共に旅をしているのだ。あなたは彼等より偉いのではなく、彼等の水先案内なのだ。モーゼが、イスラエルの民より先に荒野に歩いていたことを思い起こしてみるがよい。このことによって、彼は後に、カナンへの厳しい旅に民を導くことが出来たのだ。

この新約のテーマは、牧師のみではなく、すべてのミニストリーにあてはまることで、あなたに根気と知恵を与え、神に於ける忍耐深い父親、母親に形作るであろう。

例えば、私の出身の閉鎖型ブラザレンは、順応者と反抗者を生み出した。心の内側からの変化を体験した者は少なかった。

我々は常に、こころに働きかけていなければならない。内よりの変化が外に変化を生ずる。このようにしなければ、我々は任務を怠ることになり、いつか大きく落胆することになる。

エゴは、ひとを支配したがる

まれに、これが行き過ぎると、支配、またはspirit of witchcraftが作用するようになる。それは、リーダーのエゴが支配している場合である。周りにサポートチームを持たず、独身の強い性格の牧師は、こうなる危険が多い。自らを法とし、支配者となってしまうのだ。

ある信者がテレビを見てばかりいた。兄弟の一人が、この若者の信仰生活の成長を願うあまり、よかれと思って若者の家に行って、テレビを取り上げ、代わりに聖書の勉強会に行くように手筈を整えた。予想されるように、この若者は心の内よりの変化がなかったので、変わらなかった。1月ほどは変わったようだったが、やがてテレビばかり見るようになり、実際、前よりひどくなった。

人の手助けをし、祈ると同時に、神がその人の内側に働きかけることを待たなければならない。心が変わる準備が出来た時、その人は外側も変わっていく。（テレビの見過ぎ等）

人に助言を与える前に、しばしその人に心の準備をする手伝いをする必要があります。例えば、『あなたは、変わりたいですか？あなたの人生をこのように変える用意ができていますか？よくなりたいですか？』本人に変わりたいという気持ちが有るか？それがあるなら、あなたがお手伝いすることが出来る。

神の権威は、支配するものではありません。

『規則を設けては行けないといっても、教会をどうやって導いていったらいいのですか？』と、あなたはとうかもしれない。

権威と規律は無くってはならない者だが、規則をつくってはならない。権威は、支配ではありません。それは神からの賜物で、経験と知恵により、霊的に力強くなるものです。神は、権威のげんそくをしじしる。それでなければ、混乱が有るのみです。

権威は大きな主題なので、ここではくわしく取扱うのは控える。

## 2. 人を信頼し、期待を高く持て。

人に関し、失望することはよくある。がっかりさせられることもあるでしょう。例えば、先月中、『奉仕の心』について教えたのに、誰一人として共同作業に出てこなかった、そんな時、腹を立てて、叱りつけたくなることもあるでしょう。しかし、それでは人を内からも、外からも変えることは出来ない。

私たちリーダーは、信者達に対し、期待を高く抱くことが必要です。例えば、自分の子供にたいし、期待を低くもっていると、そのうち期待した通りになるでしょう。人々の内に有る可能性に目を向け、励ましてあげなければならない。人々の良い面を探し出し、そこから築き上げることを学んで下さい。

信者の人々に対し、よい見方をすることは、とても重要です。人々を愛し、そして、彼等に信頼をおかねばならない。そうして初めて、彼等からベストが返ってくるのです。人々の悪いところを見張る警察のようなやりかたでは、最悪の結果しかえられません。人々はキリストにおいて、十分な成長を遂げることが出来ません。

あなたの導く信者の人々に信頼をおかねばならない

例えば、あなたの息子さんがちょっとした物、たとえば、店からおもちゃを盗って、つかまわるとしましょう。そのとき、『お前は泥棒だ。これから見張っているからな!』と言いたくなるかもしれません。すると彼は、多分次盗みを繰り返すでしょう。あなたが期待を低くもち、決めつけたからです。それよりも、『何々ちゃん、君らしくないよ。盗むのはよくないことだし、君の様な良い子は、ものを盗ったりしないはずだ。君は、盗るより、人にあげる子だよ』と言って聞かす方が、よいのです。もちろん、悪いことをしても、それを罰したりしない、とここで言っているわけではありません。

ゲーテは言っている。『人は見た通り対応すれば、よけい悪くなる。人をその可能性が既に満たされているかのごとく扱うなら、可能性を満たさせることが出来るのです。』

例えば、マザーテレサは、どんな人の中にも、イエスの姿を見ました。それは誰でもが神において持つことができる可能性です。

ですから、私たちもかれらをつねにその高い理想に持ち上げなければならない。使徒がそうでした。彼の手紙のほとんどが、教会に対する高い期待ではじまる。コリントの教会は、非常に肉的でしたが、パウロは彼等のことを『聖徒として召され、キリスト・イエスにあって聖なるものとされた方々』と呼びかけている。パウロは彼等の可能性に目をつけ、そしてその高き使命に彼等を育て上げる努力をしました。時には叱りつけましたが、決して人を低く見たりしませんでした。

人を決して鈍いといっってはいけません。実際そうであっても。

同じように、子供の場合もそうです。すこし鈍い子供のことを、鈍いと言うのは大変なまちがいで、それは彼等の性格を形作ってしまいます。私たちは、無いものをすでに有るもののように呼ばなければならない。なぜなら、神はそうなさるからです！（ローマ 4:17）子供がたまに敏いときに、彼等のことを敏いと言ってごらん下さい。これが新たなプラスのインプットになり、彼等を変えることでしょう。わたしは、私の子供達においてこれを実証しました。

ある実験の話を知りました。教師達は前年、学習力のテストで優秀な成績をとったという生徒達のクラスを受け持つことになりました。実際は、この子供達はあくまでも成績と関係なく選ばれていて、優秀ではなかったのです。しかしながら、教師達はもれなく子供達は皆優秀と思いこんでいました。その年末の成績は、驚くほど素晴らしいものでした。教師達は子供達に多く期待していたので、子供達も自分に期待したのです。その年、唯一違ったのは、教師の態度のみでした。教師と生徒達の交わりは微妙なもので、声色、表情、身振り等が、意図せずと教師の子供達への期待を伝え、従って子供達は激励され、自信を与えられたたのです。この原理は、牧師とその信者達の間にも応用されるものです。私たちも、人々に対する高い期待を霊と、言葉によりつたえなければなりません。

あなたは、教会の信徒たちに、どんなに彼等が素晴らしいか、常に言って聞かせなければなりません。

イエスは意外な人たちを共働き人として選ばれました。イエスは彼等を信頼していたし、彼等もそれをよく分かっていました。イエスはいつも優しくはなかったけれど、彼等はイエスが自分たちを愛していることをよく分かっていました。ユダを除いた彼等全て、なんと素晴らしい人となったことでしょうか。

また、ダビデの場合です。イスラエル建設にあたって、ともに働く者達にやる気を起こさせたのは、素晴らしい手腕でした。ダビデをアドラムの洞窟で囲んだ男達が、彼の屈強な男達になりました。以前は、この男達は不満、不安、金欠にさいなまれていました。ダビデはきっと、彼らを信頼し、愛したのでしょうか。人は、あなたが彼らの可能性を信じ彼らに奉仕するのでなければ、あなたを信頼することがないでしょう。一旦あなたを信頼したならば、彼らはあなたに従い、やがて彼らの最善の面が現れて来るでしょう。

よい人たちを愛し、彼らがよいことをしたら誉めるのはたやすいことです。しかし、私たちはわるさをする人たちも愛さなければならない。信仰の目は、人々の欠点から目をそらし、可能性に向けられるのです。

神の愛と、神の目をもってあなたが相手の可能性を見る時、人々はそれを感じ取ります。神の愛を放射するヒーターのように、あなたのところに傷つき、冷えきった人たちが集まって来るでしょう。あなたは父なる神の愛の心を映し出しているのです。この愛の素晴らしさとパワーを決して侮ってはいけません。

神の愛を通して、人々の可能性を見るのです。

この愛は、私たちに自然に備わる物ではありません。例えば、私たちは一時、親から拒絶された女の子を引き取ったことが有る。彼女は、余りにも私に抱きついてくるので、時には押し返したくなるときもありました。また、私たちが本当に可愛がってくれているのか試す為、時にとてもわるさをするのでした。私は、自分の反応におどろきました。わかっているのに、拒絶された者の雰囲気、私に拒絶したい気持ちを起こさせるのでした。

私はこの反応をこうやって乗り越えました。この子が寝付いた後、私はベッドの端に座り、彼女を見つめ、彼女を私の霊から愛するようにしたのです。祈り、意図的に彼女を愛するうちに、暫く経って、彼女は私に例の『拒絶された者のしがみつき』をしないようになりました。私が本当に彼女を愛し、受け入れていることがわかったのです。私の彼女に対する愛と、期待がかわったのです。

時には、教会内の拒絶感を雰囲気として持っている人々に対し、こうすることが必要です。人は、私たちの言葉より、私たちの霊のなかにあるものを感じ取るものです。私たちは、神の臨在とともに過ごす時間を持たなければならない。そうする時、神の霊が私たちの一部となります。これが本当の父の心なのです。

あなたの霊がほんものであれば、あなたの教会の信者たちは少々の間違いがあっても、あなたの心が正しいことを知っているのです、多めに見てくれるでしょう。

創世記32:14-33:10を覚えているでしょう。ヤコブが一晩中神と格闘したと記されている。天使が彼の腿の関節を打ったので、ビッコを引くようになってから、ヤコブの兄弟エサウに対する態度が変わりました。彼にはエサウの顔が神の顔のように見えた。エサウが変わったのではなく、ヤコブの見方がかわったのです。その時彼の名はヤコブからイスラエル、『王子』、と変わりました。私たちが王子の品位を持ち合わせるようになると、私たちは人を違った目で見えるようになるのです。

神が私たちに触れる時、それは私たちに謙虚にし、私たちは兄弟を違った目で見えるようになるのです。肉から見るのではなく、キリストにおいて見るようになるのです。

神が私たちに謙虚にする時、私たちは兄弟を違った目で見えるようになるのです。

私は祈りのための紙挟みに、私の教会のリーダー達とその子供達の名前を控えています。彼らの為祈っているうちに、彼ら一人一人が私の心にあらたに近くなるのです。

私たち人間の心は、曲がったものですから、私たちが気をつけなければならない微妙なことがあります。私たちの愛が、私たちの都合いいように 相手を操縦する

道具になりさがることがあるのです。牧師達は、間違っただけの人心支配をすることができ、力をもち合わせてる。これは真の愛とはかけはなれたものです。

私たちは、寛大さによって操作することさえもある。わたしが企業を経営していたときのこのことです。ある朝、いつものように工場の皆にあいさつしによりました。責任者と話をするためプラスチックの型押し部門に行きました。彼の顔は怒りで真っ黒でした。『おはよう、ジャック、どうかしたのかね？』と私が聞くと彼は、『誰が昨日、型を開いたままにおいたんだ？』と怒った声で聞きました。『実はわたしだよ』と私が答えると、彼は怒って反応しました。私には大したことではなく、被害は無かったように思われたのですが、ジャックはおこりんぼうだったのです。

恥ずかしいことに、これに対する私の反応も、大してましではありませんでした。私の内からまるで何か強力な薬品かのように怒りが込み上がってくるのを感じました！ 私は返事をせずに、彼に背中を向けて工場の向こう側の私の事務所へ歩いていきました。本当にもう少しで、彼を即刻クビにするところでした。本当に腹が立ったのです。しかし、彼は私の企業に重要な男だったので、そうしなかったのです。

事務所に入って、座ったときも、腹の中が煮えくり返っていました。その時、変なことを思いついたのです。寛大になれるよう、祈った方がよいかも。実は私は寛大になんかなりたくなく、怒りたかった！しかし、気が向かないまま、私は神に寛大さを与えてくださるよう、祈りました。驚くことに、神は叶えてくださいました。私の気分はすっかり変わり、寛大さの霊が賜りました。そして私はふたたび工場のほうへ、ジャックにあやまりにいきました。ちょうどその時、彼はわたしの工場事務所に入ってくるころでしたので、私は『ジャック、君を怒らせて本当に済まなかった。許してくれるかい？』と言いました。すると、彼はもう、どうしていいかわからなくなったのです。私たちが握手をする間中、かれはボソボソひとりごとをつぶやいていました。彼は、喧嘩に反応することは出来ても、寛大さにはお手上げだったのです。その日一日中、彼は私についてまわり、いままでなかったようにいろいろしてくれました。寛大さの勝利です！

しかし私は、新たな問題に直面しました。私のずるい肉的な性質が、『これはうまいことした。これからこの手でやればいざ！』と叫んでいたのです。そう、わたしは寛大さを操縦の道具にすることも出来たのです。寛大さは、私たちの霊の中彼くる者でなければならない。その時その時、本物でなければならないのです。私たちのころは、なんて微妙なものでしょう！

神の民について高い意見を持つ

モーゼは柔和な男でしたが、イスラエルの民が文句ばかりいうのにととうとう堪忍の緒をきらしました。彼は怒ったので、カナンへの国へ入ることが出来なかった。神は、私たちが人に低い意見を持つことを喜ばれません。



私たちは 時に他の人が私たちにする様な態度を取ることにはなりません。それをする  
と、あなたの教会はマイナスの雰囲気になり、私たち自身も傷つき、それによっ  
て周りから孤立するようになるのです。

私たちが忘れがちなのは、私たちの成功や失敗は他の人々と協力し、かれらがベ  
ストの状態に機能出来るようにお手伝いをすることで決まる、ということです。こ  
れは大いなる報酬があるのです。

### 3. 幾つかの問題のみを根拠に教会全体を判断しない

1コリント16:15, 19。

牧師が、いくつかの問題人物に気を取られてしまい、教会の大部分を占める素晴  
しい人々のことをわすれてしまうのは、よくあることです。

これまでに数多くの素晴らしい神の僕が、傷つけられ、落胆により霊が圧倒されて  
しまい、隠遁者として人生を終えました。一部の不満分子の批判が忠実で真摯なも  
のであるかわりに、痛みと落胆の源になったのです。

牧師という仕事は、世界一難しく、しかし同時に、一番報酬が有る仕事の一つで  
す。他のどんな仕事より傷つことも有るが、その傷を通して、寛大さと成熟をあな  
たの性格に培ったならば、牧師は世界最高の使命です。

ハドソン・テーラーのすばらしい言葉があります。『人を神によって変えるのは  
祈りからのみ。』少しのことは、大目に見て、それがあなた個人に影響すること  
であれば赦し、寛大で成熟した態度をしめすほうがよいのです。

人を神によって変えるのは 祈りからのみ。
----------------------

祈りと時間により、いつか解消する問題も有ります。しかし、問題によっては面  
と向かって対決、または話合いで解決しなければならない事も有ります。問題に直  
面しないなら、それに関わっている者達は、あなたからないがしろにされた様な気  
持ちになり、問題が大きくなり、恨みになる事が有ります。この恨みは人を穢し、  
教会に対立を生む危険があるのです。

何が原因で対立がおきたのかだれも知らない、こういうことはよくあるのです。  
一旦根を張ると、なかなか取り去る事は難しいのです。

対立の問題は大きな課題です。わたしはこの本を薦めます。Marlin E. Thomas著  
“Conflict Solutions: Resolving Disputes in Christian Groups” ISBN1-895308-  
15-1.

教会内の対立に関して語るのは、このトピックの域をこえるので、また他で扱います。

よく心に留めてください。私たちは、ひとを理解してあげなければならないのに、拒否してしまう事が有るのです。

あなたの教会の実態を判断するには、全体を見た、バランスのとれた見方をするように心がけてください。あなたの気分や、数少ない幾つかの問題のみで判断しないように。総からげでものをみないように。彼らの教会問題だらけでよいところの無い様に話す人たちがいる。そう、問題は沢山有る。しかし黄金が泥よりもはるかに多い。

#### 4. 判断は事実にもとづいておこなう

1テモテ5:19

教会内の紛争の大部分は、事実よりも個人の感情や不満から起こる。わたしたちは公平な、正義のしもべである事が、必要不可欠である。

ヨシュア10に、カナン5人の王のうち、ヨシュアの軍が打ち倒さなければならなかった頭の名はアドニ・ツェデク、その意味は『正義の王』と書かれている。彼は、エルサレムの王であった。その意味は、『正義の住処』である、これは、サタンの拠点が司法制度にあることを示すものである。正義がおこなわれ、平和の住処（私たちのエルサレム）が実現されるまでに、サタンは負かされねばならない。

これは、現在の教会にもあてはまることだ。私たちは神の叡智により、不義をのりこえなければならない。これが私たちの武器である。悪魔との戦いは、やかましい祈祷集会よりも、正しい原理をもって戦われなければならない。神の正義にそって生きていない者たちが、熱心に祈っても、それは無駄か、大惨事になるだけである。

私たちは正義を行うことを学ばなければならない。不公平な父親は、他の何よりも、家族に不満をもたらす。罰したあとから事実を充分把握していなかったことを知るよりも、子供を多めに見てやるほうがよい。時として、私たちは先ず罰し、あとから事実を発見する事が多い。私たち親は、先ず事実を知るべきだ！我々は正義をおこなう努力を惜しんではならない。

私たちはしばしば自分たちの見地や立場、感情から判断し、意見を形作る。世間一般の意見の80%はまちがっている、と私は思う。人々は事実よりも噂に左右されるからだ。

他の誰よりも、神の民は事実にもとづいて判断しなければならない。
---------------------------------

私たちは、事実を知るための骨を惜しんではならない。これは、教会における判別で、この世の法廷よりすぐれたものでなければならない。躓いたり、問題を起こした牧師や信者は、公正な判断を受けなければならない。聖書は、『すべてのことが、二人または三人の証人の口によって確定されるようになるためである。』と述べている。わたしたちは確かな証言から公平な判断にもっていかねばならない。

残念なことに、事実無限な噂を流すクリスチャンが多すぎる。このような流言は人の信用を傷つける。

牧師が、意見の一致しない相手に疑いを抱きだすことがある。彼が疑いを事実に変え、それに反応すると、それが不一致の基となる。これは気をつけなければならない。牧師やリーダーによくあることだ。

牧師は被害妄想に陥る事がある。（被害に関する強迫観念。異常に人を疑い、信用しない傾向がある）。私たちは少々な事にとらわれず、プラスな方に進むように、心を大きくもたなければならない。

わたしたちは、判断を控えることができる人々でなければならない。

アメリカ防衛庁の参謀総長ヘーグ長官が面白い事を言っている。長官や参謀との会議で、一番問題なのは、このような人物の集まりにおいても、ある状況について全ての事実を聞く前に、早まった判断をくだしてしまうということだ。彼らは一旦立場を決めると、中立に戻るのがほぼ不可能になるのであった。これは、教会内においてもあてはまることである。意見の分かれた、立場に固執するグループを一つの心につれもどすのは骨の折れる仕事だ。偏見が、グループの物の見方に刷り込まれてしまう。これから解放するには、寛大で、熟練した牧師が神の叡智を借りて何年もかけてやっと達成できることなのだ。

アトランタの裁判官カーミット・ブラッドフォードはニュージーランドの我が家を訪れた際、『私たち裁判官は、判断を控える事を学びました』と言っていた。私はたびたび彼の言葉を思い返し、これが本当の成熟した態度だと思う。全ての関連事項を知る迄、判断を控えることはまことの正義に不可欠なことだ。

人の話をすぐに信ずるな。わるい噂をばらまくことは肉の技であり教会にとってひじょうに危険である。

## 5. 説教一つで教会が変わる事を期待してはならない

使徒 20:27, 28, 31

教会に変化をもたらすには、一行の真実をある時期の間何回も何回も説く事が必要だ。一つの説教で結果を得る事もあるが、人の生活の中にある概念を打ち立てる

には、一つの題目を幾つもの機会わたって説く事が必要である。『盛り合わせ』の説教もよいが、きちんと練った、継続した説教と同じ結果は期待できない。

ある題目について一生懸命説教した後、期待したほどの変化が人々にみられないと、がっかりすることがある。

これはちょうど、本を読む際、何回も読み返して、その内容を十分に吸収するのと同じで、繰り返しと黙想は、何よりも人を変える。そして、御言葉に触れるに従い、人々に変化が現れる。

私たちはバランスのとれた糧をあたえなければならない。

初期教会において、殆どの教えは対話の形で行われた。共産主義も、小グループの中の対話を通して最もその影響力が広がった。

人々の状況を知る事、そしてどの御言葉が予言的にあてはまるか知る事は非常に重要です。しかし私たちは又、バランスのとれた糧をもあたえなければいけません。信仰、悔い改め、教会など、ある主題は度々説教で扱う事が必要です。

主観は霊的な事もありますが、気まぐれである事もあります。私はよく、何時間も主から説教の主題を聴き取るのに費やしました。そしてそれを又変え、又変え、説教の前の祈りの時間にまた変えたりしました！長年の経験から、年間を通じて、幾つかの主要題目を教える事が必要だと言う事が分かって来ました。是非、主要トピックのリストを作ってください。バランスのとれた学習過程は、教会にバランスを与えます。しかし、私たちは主からの促しに耳を傾ける事を怠ってはなりません。神は何か、特別な言葉を与えてくださるかもしれません。そのときは、それに添って変えてください。

## 6. 御言葉を自分の性格、状況、興味に添って解釈してはならない。

御言葉をこのような微妙な影響に添って解釈するのは大きな罣です。主観的に物を見る人は聖書を主観で解釈するかもしれません。また、実利主義な人は実利的に解釈するかもしれません。アメリカに住んでいる人は、お国柄で、繁栄の教えを聖書に見る、反面インドに住む人は、貧困を目の当たりにしているので、貧困ばかりが見えるかもしれません。

聖書を開くときは、心もひらかねばなりません。私たちは神の御心にはいり、自分に正直に、御言葉が何を語っているのか読み取る事を意図せねばなりません。御言葉を広範囲に見るのです。

例えば、金持ちと貧乏人についての説教をするならば、広範囲の御言葉により、バランスをとる事が大切です。繁栄をお金と同じ意義で使い、偏った話になった説教を聞いた事があります。繁栄は、地上の繁栄ではありません。ヨセフは『繁栄の人で、繁栄をもたらした』といわれたが、奴隷の身でした。これは、人格の内なる性質ではなかったでしょうか。もちろん、他の箇所では、神は私たちに金銭を祝福として与えることもある、と書いてあります。

私たちは自分の霊的状态から『教え』を汲み取りがちです。また、牧師の努めに疲れて、自分の善悪の基準を下げる事もありがちです。この世に合わせるようになるのです。私たちをにぶくしてしまう、その軋轢は常にあります。しかし、強く聖書の真実を説かねばなりません。

御言葉を自分のおかれた状況に添って解釈しないように。これは大切な事です。例えば、あなたが金銭問題で苦しんでいる時、その角度で御言葉を見る事はたやすい事です。

又、御言葉を自分の賜物、また興味に添って解釈しない事も、大切です。私たちの神における権威は御言葉からくる物でなければならず、いい加減では教会を祝福する事になりません。目標をしっかり持って、信念をもたなくてはなりません。神聖な信念は変化をもたらす大きな影響となります。

人間的権威と、神的権威の間にはおおきなちがひがあります。霊的権威は、信念の力をもたらしますが、人的権威で行動すると、結果は本当の霊性をもたないでしょう。

## 7 説教台を人を叱るのにつかっはならない

このまちがいに陥るのは、たやすいことです。説教台を『臆病者の城』と呼ぶ人がいます。牧師が面と向かっては言えない事を、誰かを標的にして説教台から言うのです。これは自信不足のしるしです。

教壇を『臆病者の城』と呼ぶ人がいます

恥ずかしながら、私もこれをしたことがあると認めねばなりません。後でいい気持ちはしませんでした。

誰かが、自分があなたの話の標的にされている、と思う事があるかもしれません。誰かに同じ問題でカウンセリングを行っている場合、難しい場合があります。説教をする間、その人を見ないようにしたり、すぐあとで、急いでそばに行って『もちろん、あなたについて話していたのではないですよ』と話しかけたり。これは、よけい悪くしてしまっています。そのひとが気を損ねないように、前もって話しておいた方がよいでしょう。

大切な事は、神に対し、良心に曇りが無い、ということです。人に誤解される事もあるでしょうが、教会内の信者さんのためになることをすればよいのです。

牧師という仕事は、対人関係が上手でなければなりません。

これと似た問題が、あなたがよく知っている信者さんたちに知識の言葉を授けようとしている時、その言葉が当てはまる人をあなたが知っている場合です。皆の前で言わないで、後で個人的にその人に言うほうがよいのです。

私たちは説教台をどのようにもちいるかよく気をつけなければなりません。私たちの仕事は、人々に糧を与える事で、叱る事ではないのです。

啓示よりも反発から説教することはたやすいことです。反発からの説教からは良い結果は得られません。実際に、その反対です。

## 8. あなた個人のために与えられた言葉を他の人に向けてはならない

1テモテ 4:16

何年前か前、私たちといたアイルランドからの伝道師がこう言いました。自分の最初の10年間の説教は、ほとんどが自分に向けられていた、と。神は私たちにすべき事を語ってくださる事が出来ますが、私たちはそれを他の人に課す事があります。神様が自分に語っておられる事に関して、正直にならなくてははいけません。時として私たちは自分に対して予言していることもあるのです。敏い人はこれを見通します。

## 9. 対人恐怖症にならないように（迫害妄想）

ある牧師が、ラグビーの試合を観に行きました。選手がスクラムを組んでいるのを見ると、彼は皆が自分の事を話していると思った。これはかなり重症ですね！

しかしながら、私たちも多かれ少なかれ対人恐怖症になる事があります。誰かが教会からはなれていくと、自分が何か、わるい事をしたのか気になることがあります。私は牧師として、充分でなかったか？何日も悶々とするかもしれない、分かってみると、椅子の釘がでていた、等大した事でなかったりするのです！

牧師という仕事は、他の仕事よりも傷つきやすいものです。ある人に、時間をかけ、愛情をかけ、それなのにその人は離れていき、あなたについて嘘を言いふらす。これは恐怖症を引き起こす事があります。内面的に過敏になるのです。

私たちは、サイの皮をかぶったほうがよいのかもしれませんが。しかし心は固くしないで、私たちは子羊の心を保っていないといけません。愛は、繰り返し繰り返し、傷つくリスクをおかすのです。私たちは、傷つくリスクと共に生きていねばなりません。心優しくあってください。

## サイの皮と、子羊の心

牧師は上っ面を構える事があります。周りの人に、全て順調、といいながら内側では過敏になっていることがあります。そしてちょっとした事に傷つくのです。お腹が軟らかくなってしまったのです！これが多くの人に聖職を離れる、またはその仕事が苦しみとなる原因になります。

私はこの聖句が好きです。『すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいに安らぎが来ます。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。』

あなたのおつとめが本当にイエスさまのくびきを負っているならば、主はくびきを負いやすく、荷を軽くしてくださいます。私たちはときに深刻になりすぎて、荷が重すぎるようになるのです。私たちは荷を担うものですが、キリストと共に負うのです。教会は、あなたではなくて、主のものなのです！

律法においてさえも、私たちは楽しみと喜びをもって神につかえることを命じています。礼拝では楽しみと喜びが重荷を軽くします。喜びは、意思的な行動です。パウロは、『いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。』と言いました。私たちにそれができないなら、パウロはそう言わなかったでしょう。研究によると、人は仕合せなときの方がよい判断を下し、健康であるということです。喜びは奉仕の潤滑油になります。

私たちは不要な事でくよくよしすぎます。不治の癌を病い、その最終期に罹った男について話を読んだことがあります。かれは、最後の時間を楽しく過ごそうと映写機を取り寄せて、おもしろい映画をかたっぱしから見て過ごしました。驚いたことに、笑っているうちに癌が治ってしまったのです。かれは病院から自宅へ戻り、今も健在です。笑いで健康を取り戻したのです。

キリストが教会の本当の牧師であることを忘れないように。主がめんどうをみてくれるのです。私たちはただ主にしっかり寄りかかればよいのです。どこか違ったところにでかけてから戻って来ると、同じ問題を新たな観点から見ることが出来ます。年配の兄弟が私に行ったように、『宇宙の風が地元のクモの巣を吹き飛ばしてくれる』。牧師同士で連れ立って船の旅に出るものもいます。教会の話はせずに、ただ笑って楽しむのです。時々、よい健全な物語を読んでご覧なさい。気晴らしになります。

## 10. 問題から逃げないで尾をつかめ

テモテ 4:16

私がある町で集会を行っていた時、この教訓が特にためになりました。

その頃私は、試練にあっていました。私のプラスチック工場で大きな問題が起きていたのです。夜中に私は、次の日どうやって説教したらいいのか困りあぐねました。企業のあらゆる問題で頭がいっぱいでした。朝の1時には、もう我慢が出来なくなり、私は起き上がって神にすべてをぶちまけました。

その時、神が私に語られ、はっきりした声が聞こえました。『尾をつかめ！』すぐさま、私にはこれが何のことか、理解できました。出エジプト記 4:3,4 で、モーゼは主の言われるままに杖を地面に投げ、それがへびになったのを見て、怖くなり逃げ出しました。神はその時、手を伸ばして、尾をつかむように、とかれに言われました。モーゼが手を伸ばし、尾をつかむとそれは手の中で杖になりました。この杖は、神が私たちにくださった権威です。モーゼがそれを地面に投げると、それをつかむ迄逃げ出したのです。

手を伸ばして、尾をつかめ

私の企業で、私が大切な人物と考えた男がいました。しかし、彼はずるい性格だったのです。神は、この男が会社の士気を低下させている、ということを示して示してくださったのです。

この男に立ち向かう事を避けた為に、私は権威を失い、そして今、状況から逃げているのです。彼を追い出さない事には、企業がだめになってしまう所まで来ているのです。

この啓示がどんなに突破口を提供してくれた事でしょうか。次の週、わたしは会社に戻り、彼をクビにしたのです。（もちろん、寛大に身に余る褒美をあたえて）

こうして状況の把握ができると、士気が戻り、生産量が増えました。これから次のポイントにつながります。

## 11. 神から授かった権威を手放してはならない

コロサイ 4:17

私たちは決して神から授かった権威を手放してはならない。それは私たちが手放してよいものではないのです。よい顔をして、お返しをする為、手放す事もあるで



しょう。私は痛い目をしてこの教訓を学びました。私は教会の信者達を守る事をこうして怠ったのでした。

(霊的、または肉的) 父親が家族にこれをする事があります。これは、放棄と呼ばれます。放棄は、怠慢、怠け癖、落胆からくる事があります。又、経済状況からくる事もあります。父親は問題から逃げて、頭を砂に埋めます。敵は、この状況を利用して来ます。よくなる代わりによけい悪くなる。

わたしたちは牧師として、神における権威を用いなければなりません。もちろんこれは、人を支配するという意味ではありません。まことの権威は、ちがうものです。それは、賜物、経験、知恵によって道徳上の影響力を持つのです。これはよく誤解される事ですが、神の祝福を受けるにあたって非常に重要です。

## 12. 徹底した別居期間をおかずに同棲中のカップルを結婚させてはならない

ヘブル13:4 これは現代社会の状況から、いつも出て来る問題だ。妥協への誘惑は大きい。牧師としてはきまりにこだわらず人当たりよく対処したいのはやまやまだ。しかし、私たちは『人当たりの良い』事より正義をなさなければならない。私たちは神の前に正しい事、そして長い目で見てそのカップルにとって最善の事をなさねばならない。

神の原理は常に人に祝福をもたらす

何年か前、同棲中の未婚カップルが結婚したい、と依頼してきた。彼等は信頼できそうに見えたので、『あなた達は、床を一緒にしていますか？性的関係を持っていますか？』と聞いてみた。彼等は、『はい』、とこたえたので、彼等にアドバイスをし、長い話合いの後、悔い改めの祈りへと導き共に祈った。そして彼等に結婚迄性交渉をひかえるように伝え、3週間後に私の家の前庭で式を挙げた。しかし、その間ずっと、わたしの霊はやすまらなかった。その後1ヶ月も経たないうちに、その夫婦はバックスライドしてしまい、消息を絶ってしまった。

それから約1年経って、教会の長老会儀の席で、同棲中のカップルを結婚させる事が話題になった。スタッフで医者でありカウンセラーである長老の一人が、同じ様な経験をしていた。同棲中のカップルが結婚したいと彼に依頼して来たのだ。我々は一時話し合ってから祈った。祈りの時、力強い神の臨在が下り、私たちは皆、悔い改めに膝まづかざるを得なかった。同棲中あるいは姦淫を犯しているカップルを真の悔い改めと別居期間を経させずに結婚させるのは神の祝福なしに結婚させる事になり、姦淫を合法とすることになる。このごろは聖書にある姦淫という言葉を使わずに、同棲という格好の良い言葉を使うようになった。

それ以来、このような場合に関し、私はいっさい人間的な感情を捨て去った。カップルには悔い改めに導くカウンセリングを行い、神の前に正しい事を行う気持ち

を整える。もちろん、単に私がそう言ったからというのではなく、彼等自身が自覚することが大切である。

私は、彼等にこう言う。二人がバージンロードを歩いて来たとき、神の前に心から祝福してあげたい、偽善者になりたくない、と。婚姻前の短い期間に、しっかりした地盤を築かねばならない。それが一生の祝福された結婚生活につながるのだ。

二人がバージンロードを歩いて来たとき、心から祝福してあげたい

最近、うちの副牧師が、同じ様なケースに直面した。彼は、私との話合いで、妥協をしないと狭く、規則にこだわるように見え、やりにくいと打ち明けた。彼は言った。『本当にこのやり方でしなければいけないのでしょうか。正しい事は分かっていますが、このカップルを失う事になるかもしれません。』しかしながら、この二人はまだ信者ではなかったけれど、再びやって来て、正しいやりかたで結婚する事を希望した。結婚式の後、彼はその日は神の臨在が感じられる特別な日だったと言っていた。新郎新婦の未信者の友人達も結婚式に特別な雰囲気を感じ取ったのだった。

教会の弱いところは、こういった分野の多くで妥協してしまうところだ。正しさの霊的強みがない、煮え切らない教会になってしまうのだ。

もうひとつよくある問題は、結婚が破綻して、最近教会に来だした人が特定の教会員と特別関係になった場合である。その人に愛着がおきて、牧師が注意を呼びかけにいくと、非常に嫌われることがある！

前の結婚から完全にはなれてしまうまで、あらたな関係を始める事を考えてもいけないと思う。たとえそうした後でも、よくない場合がある。

再婚はいっさいいけない、と教えるひとたちもいるが、私は再婚してもいい場合がある、と信じている。それぞれのケースが、神のみ前でしっかり見極められねばならない。

基準を下げてはならない—神は人間の為を思ってそれを作られたのだから。

わたしたちは、リーダー達、教会員のひとたちに、必要に応じて彼等が正しい判断を下せるよう、大切な原理や指針を教えねばならない。あまりにも多くのクリスチャンたちが本当の規律を知らないでいる。これは現在最も欠けているものだ。

神の基準がかけているとはなんとという悲しい社会だろう。教会はルーズになってはならない。悲しい事に、すでに多くの教会はそうなっている。

牧師達よ、これ等の事をしっかり見つめ、神の家族を美しいものとしているその原理を見失わないようにしよう。

離婚と再婚の件については、よい本があります。Guy Duty著のDivorce and Remarriageという本です。私たちがこの本を読んだのは20年前でしたが、今思い出しでも、とてもよい、バランスのとれた本です。

### 13. リーダーを任命するのは慎重に

1テモテ5:22

『誰にでも軽々しく按手をしてはいけません』。これは重要な指針だ。多くの災いが防げるだろう。

任命するのは容易いが、やめさせるのはかなりの悪影響なしにはできない。

原理を実行に移す為に長老を任命する必要はない。聖職者会議から戻ってすぐ早まった事をする牧師がいる。指導チームにバランスをもたらす為、長老を任命すべきだと聞いて、教会内にその資質をもちあわせた人たちがいなくとも長老を任命する。長老がいるのはよい事だ。指導するにあたって、共に導く人があるのは聖書にも記されており、正しい。しかし、その資格を持ち合わせない人を任命してはならない。それは教会とあなた両方に害をもたらす。原則を実行する為に長老を任命する必要はありません。

任命するのは容易いがやめさせるのはかなりの悪影響なしにはできない。

このような決断を下すとき、その結果はどうなるか、という事を常に考えあわせなければならない。その決断によって、教会への祝福はどのように影響されるのか。

皮肉な事に、聖書に書かれた組織のある教会よりも、組織が不完全な教会のほうが、うまくいくことがある。組織は重要だが、それは成功の唯一要因ではない。一部の人が教えているように、組織が必須要素だとは私は思わない。新約聖書に記録されたそれは、利点はある、模範と参考になるがなくてはならないものではない私は考える。神の大国の真実、正義、信仰は無くなくてはならないものだ。組織は建築作業を容易にする足場の様な物だ。

くれぐれも、大きな決断を下すのは慎重に時間をかけなさい。特に長老を任命するにあたっては。

### 14. 主な指導者が教会を離れる際は、声明を述べる機会を与える

主なリーダーのひとりが教会を離れる決断をする状況がでてくるかもしれない。残念ながら、これは快く行かない事が多く、教会員たちを動揺させる事になりがち

だ。『どうして出て行ったんだろう？』と問う人も出て来るだろう。また、事実を知らない人々は、『弱いもの』の味方をしがちだ。

何年か前、私の教会から一人のリーダーが離れる事になった。彼は30人以上のハウスグループを受け持っており、又他の町に私たちが立上げた教会の手伝いをしていた。

その当時うちに泊まっていたアメリカ人の牧師がとてもよい助言をくれた。彼はこう言った。『ある不満を持ったリーダーが教会を離れた折、彼に自分はなぜ出て行くのか、声明を述べる機会を与えた。その声明の後、わたしは彼の為に祈り、寛大に送り出した。私は一言たりとも自分を弁護しなかった。ただ一つ、私が聴衆に問うたのは、このリーダーと考え方を同じくするもの達がいるか、これから関与するにあたり、私に知らせてほしい、と。』この方法で、状況が明確になり、陰口はおさまり、皆に新たな信頼関係ができた、と彼は教えてくれた。

私はそのアドバイスに従った。リーダーが辞表を出した週の日曜日の朝、私は彼に電話を入れて、礼拝のメインサービスの折、彼が辞表を提出したことを発表する事を伝え、彼に教会で声明を述べたいか、又は私に彼からの声明をそのまま読み上げてもらいたいのか、聞いた。また、決して彼からの声明に何ら私から付け加える事をしない、また私の立場を正当化しないことを約束した。かれは考えた後、私に声明を口述し、わたしはそれを一言一言間違いなく書き留めた。

メインサービスの折、私は\_\_\_兄弟が教会を離れる決心をしたと発表した。又、皆に彼からはなれる理由を書き留めた声明を預かっている事を話し、それを読み上げ、私からは何も付け加えなかった。

物事に勇気を持って、公平に対処すること。

私は、彼についていきたい人たちに、名乗りを上げるように言うまでの度胸がなかった。一同は立ち上がり我々がそのリーダーと妻の為に祈った。彼等が敵ではなく、私たちにあって愛し続ける兄弟であることを明確にした。

結果は素晴しかった。雰囲気明るくなり、会衆は信頼感を得、彼を追って教会から去る者は4名に留まった。彼はその後新たな教会を自宅から始めようとし、やがてついていったものたちは離れていった。

私たちの教会は、一致の精神が行き渡り、そのおかげで繁栄し続けた。

たとえ同じ事が又起こって、その声明が私を個人的に責めるものであったとしても、私は自己正当化はしないだろう。ときには沈黙が最善なことがある。自己正当化はよくない。

その後、ある人が私に尋ねた。『もし、又こういう事があった場合、君はそのリーダーについて教会を離れたい人たちに名乗りを上げるように言うだろうか？』私

はこう答えた。『このような大きな決断を下すのに、人には時間が必要だ。他のリーダーや牧師と話し合うことが彼等には必要かもしれない。

## 15. 困り者のリーダーは、彼が活躍できる場に行かせてやる

私の教会にいた30代の男性が、非常な野心をもっていた。それは彼の持ち合わせた賜物をはるかに超えるものだった。彼の奥さんもまた、残念ながら彼に野心を持っていた。

他のリーダー達は彼の事をよく分かっていたが、彼のおかげで教会に不一致がおこった。彼をよい方に持っていかうと、私は出来る限りの事をしたが、どれもうまくいかなかった。私は彼が神における兄弟として契約関係にあることを尊重しながら、その実彼が教会を離れてくれるよう願っていた。

度重なる祈りの末、ある人が私に提案をした。それは非常に単純ながら、正しく叶った様に思われた。彼が望む人の下で活躍できるように解放する、と彼に伝えるというものだった。

これは、三行半ではなく、彼の為にも、教会の為にもよい提案だった！かれは何週間か思案し、同じ町の違う牧師の下で仕える事に決めた。残念ながら、かれは行くところどこでも、トラブルの元だった。彼はやがて自分の家から教会を始め、後ほどそれも閉鎖した。

## 16. 人々を適していない分野（例えばリーダーとして）に育成しないこと

リーダーとして適性の無い人たちに指導者養成を与えないほうがよい。若手の牧師のひとりが、選り抜きの一団を訓練したいと希望したので、私はオーケーを出した。しばらくして、この若者達は、喜ぶどころか明らかに不満げで、苛立っている様子だった。教材を見てみると、指導者養成の科目を教えている事を知った。ただ、このグループのうちだれ一人として、リーダーとしての素質を持ち合わせていなかったのだ。

真の聖職者は神によりつくられる。
------------------

これが聖書学校を出て、適所を見出せない人が余りにも多い理由からかもしれない。知識を注入され、それをすぐさま実践に移そうとする。何年前か、ある教会が8人の熱心な信者を聖書学校に送り込んだ。悲しい事に、一人をのぞいて全員がバックスライドしてしまった。むろんこれは例外で、聖書学校は大いに価値がある。

しかし、忘れてはいけないのは、真の僕は神によって作られる、ということだ。地元の教会と結びついた実施訓練が非常に大切である。

人々には、弟子養成の原則に沿って訓練を与えなければならない。指導者の素質の無いものに指導者養成教育を強制してはならない。聖職者でないものを抜擢するのは後々トラブルのもとになるかもしれない。

誰でも受け入れるように見られたくて、素質のない者を教壇に立たせるのは、信者たち糧を与え、育てることにならない。信者達の現状に祈りに心を砕き、彼等の糧となる御言葉の探索に時間を費やしている 優秀で心ある羊飼いや教師の代わりに、なぜ素質も無い者を立たそうとするのか？羊飼い／教師は長年の経験を積んできているのだ。

私たちは、『人を喜ばせる』者たちではない、これを肝に銘じなければならない。私たちは教会を築いているのだ。熟練したものを用いなければならない。建築でも同じ、卓越した者達をそれぞれの才能と熟練に応じて用いる。もし、人を喜ばせる為に、手伝いたい者誰にでも金槌を渡したりすると、大変な事になる。誰かを気に入って、仲間に入ってもらいたいから、壁塗りをしてもらおう。いったいどんな家が出来ることか！

リーダー素質のあるものを小集団で養成したり、信仰告白した者達をフォローアップし、1対1で弟子養成する機会は沢山ある。

## 17. 対人関係において肉に支配されてはならない

2テサロニケ3:15

感傷、冷淡さ、怒りを避けなさい。心に肉を立ち上がらせてマイナスな感情でものをいって台無しだ。実際、しばしこれは貴重な人間関係を傷つけ、あなたからの助言の効果を鈍らせてしまう。

時として目に余る不当行為にすぐ反応してしまうこともあるだろう。このような感情を制御しなければならない。状況に反応する前に静かなところに行って祈りなさい。天なる父から知恵を授かるように祈り、神が授けてくださる事を信じなさい。そうすれば聖なる権威で事柄に対応する事が出来、平和な結果が得られるだろう。

私は箴言14:29の言葉が好きだ。『怒りをおそくする者は英知を増し、気の短い者は愚かさを増す。』

<p><b>箴言 11:12</b> 隣人をさげすむ者は思慮に欠けている。しかし英知のある者は沈黙を守る。</p>
---

対人関係におけるもうひとつの反応は感情からくる。これは善悪を見えにくくし、事実を見極めるのを難しくする事がある。感情に左右されることは、長い目で見てためにならない。感傷は『感情に色付けされたものの見方』である。

感傷は一見、愛または優しさのように見える事がある。しかしそれは悪魔の業をなすことがある。例えば、マタイ16で、ペテロがイエスの死について「主よ。そんなことが、あなたに起こるはずはありません。」と言うと、イエスは言われた。「下がれ。サタン。あなたはわたしの邪魔をするものだ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」

私は牧師たちが他の人の話をしているとき、冷淡さを感じるがよくある。これは言葉ではなくとも霊により伝わるので、信者達もいずれ嗅ぎ取る。牧師達の場合、人によって傷つけられ、それが冷淡さの原因となることがある。私たちは、硬い皮を身につけたほうがよいかもしれない。しかし常に柔らかな心を保つようにしよう。

自分に問うてみよう『私はこの人を自分の息子と同じように扱うだろうか？』例えば、もし自分の息子が同性愛者だとわかったとすれば、どう対応するだろうか？他の人の息子も同じように対応できるだろうか？

神は公平であるから、公平になれるよう努めなさい。
--------------------------

悪い事をした人を責める事も必要だ。しかし一方的ではいけない。私たちは公平である神の感情を示さねばならない。

私は婚約中でいながら始終姦淫をおかしているカップルを世話していた。ある時、彼等がやって来て、『僕たちは自分達でおさえられないんです』と私に言った。わたしは、かれらをきつく咎め、それは神の心を伝えるものと感じた。二人はそのときは怒ったが、それきり罪はやんだ。彼等は後、真の悔い改めをもって戻って来た。咎めが、彼等の結婚生活によい基盤を築くのに役立ったのだ。結果は素晴らしい結婚生活と家族だった。

**2テモテ**には**4:2**...とがめ、戒め、励ましなさいとある。この順番によく注意されたい。

ある若い女性がカウンセラーに行って、一連の重い罪を告白した。するとカウンセラーは、『気にしない気にしない、誰もが皆つまづくのよ、神様は許してくださいわ。』この発言は正しいかもしれないが、この答えは神の畏れを伝えるていない。こんなカウンセリングは罪を増長させるだけだ。とがめるなら、その背後にはその人への愛がなければならない。常に、自分の人間的弱さを自覚すること。

## 18. 人を分け隔てしない

テモテ5:21

何年か前、ある日教会が満員で、席が足りなくなっていた。人々はドアのそばで立っていた。リーダーの一人が、ある裕福なカップルを見かけた。二人が教会に加わる事を考えている事を知っていた彼は彼等を前につれて来て、それほど恵まれないもの達を席から退け、そこに座らせた。私はこの金持ちへのえこひいきを見て心が乱された。しかしこの事を思い返しているうちに、私は自分もそのような差別をおかす事がある事に気がついた。

ヤコブ2:1-10は金持ちを貧乏人よりもひいきにする事について書いている。このような行動に陥る事は容易い。ヤコブは、あなたは金の指輪をはめ、立派な服装をした金持ちに良い席を与え、みすぼらしい服装をした貧乏人に入り口のそばに立っているように言う、と書いている。4節にかれは咎めを続けている。『あなたがたは、自分たちの間で差別を設け、悪い考え方で人をさばく者になったのではありませんか。』更に、9節で『しかし、もし人をえこひいきするなら、あなたがたは罪を犯しており、律法によって違反者として責められます。』

クリスチャンのビジネスマンの運動によってリバイバルが起こっていたある国で、差別の実例を見かけた。ある新しい教会の建物のオープニングにおいて、貴賓のための特別室とごちそうが用意されていた。この特別室は大金持ちと高等教育を受けた職業人たちでいっぱいだった。彼等はうんざりするほどちやほやされていた。

これを眺めながら、わたしは神はこれをどうおもうだろうか、と思った。精霊が動き始めている頃は、神は人々の無知を知って大目に見られるかもしれない。しかし長い間にはこのような事が改められなければ、祝福が損なわれてしまう。

私たちは市長など、貴賓を大切にしなければならないのはもちろんだ。しかし、えこひいきしてはならない。最も小さいものを最も偉大なものとおなじく尊ばねばならない。

## 19. カウンセリングでは一回で奇跡を期待してはならない。泥よりも黄金を探せ。

僅かな黄金を収穫する迄には、沢山の泥をかきわけねばならない。黄金を探せ。その人のがらくたや複雑さをかきわけて、真の資質を掘り出す。そしてそこから築き上げるのだ。

われわれはインスタントな結果を得ようとする事がおおい。それが得られなければ、自分が失敗したか、その人が正しく反応しなかったと思いやすい。親から譲り



受けた性格や、長年周りの状況がその人を形作ってきたことに気がつかないこともあるだろう。

カウンセリングにおいては、宿題を設定しておかねばならない。私は、かれらを習慣から引き出す為に、目標設定を用いる。次のケースでその例をあげたい。

ある若い母親が紹介されて来た。彼女には4歳の女の子がいたが、どうしても愛着を感じる事が出来なかった。これは結婚生活にも悪い影響を与えていた。確かに、信仰生活にも影響が出て来ていた。彼女は成熟した人格で聖書に精通しており、教会にも貴重な人材だったが、この件については勝利を得られなかったのだ。

どうやって彼女を助ける事が出来るだろう？彼女はよく教会の様々な集まりで、いろんな人から祈りを受け、その後は自分でなんとかしなければならなかった。このような『インスタント』対応は、うまく行く事もあるが、多くの場合、癒しよりも欲求不満を生み出す事が多い。

まず、私と妻は、彼女自身の幼児期拒絶体験について、カウンセリングを与えた。次に、私たちは彼女を『拒絶の霊』、『愛のなさ』を断つ祈りに導き、サタンの業に権威を行使して、イエスキリストの御名のもとに悪霊からの救出と癒しにおいて聖なる勝利を主張した。3番目に、マイナスの思考と行動から彼女が自由になれる為に宿題をあたえた。

私は次の様な目標設定を作製した。

目標：我が子を愛する事

達成の利点：

1. 子供が不安定や拒絶体験を一生抱えないですむ
2. 子供が自分を責めないようになる
3. 夫婦関係もよくなる

勉強する事 よい育児書を読む事

## 作戦計画

- 1 子供に寝る前に絵本を読んであげる
- 2 子供が寝付いたら、その顔を眺め、霊により子供を愛し、彼女の為に祈ること。
- 3 毎日何分か夫とともにこれについて祈る時間を取る。こうすれば、夫は責める代わりに、共に問題に取り組むようになる。
- 4 父なる神の愛について聖書を読む時間を持つ

彼女は毎日印をつける式のチェックリストを使い、2週間のうちに、彼女は完全にこの状態から解放された。現在彼女は、もうひとりの男の子に恵まれ、素晴らしい母親になっている。

習慣を破るには21日かかる、と言ったものがいた。従って、このチェックリストは21日間期間のものを使う。

カウンセリングには目標設定を用いるとよい。

## 20. やめると言って脅したりしない。

ヘブライ10:35-39、ルカ9:62、出エジプト21:5-6

これは教会ファミリーを不安定にさせる。おとうさんがやめると言い出したら、家族はどんなに影響されるだろうか。もちろん、私たちも逃げ出したくなる事もあるだろうが、表立ってその気持ちを口に出してはならない。牧師同士の会話で内密にしておく方がよい。

牧師の人間味を持ち出す意味で教壇から言ってもよい気持ちもあり、皆もそれに共感するだろう。実際、こういった正直さは牧師とその信者達の間をより親密にすることがある。しかし口にするるとマイナスな結果になるので、言わない方がよいこともある。教壇からの言葉はよく検討せねばならない。

いろんなプレッシャーが重くおしかかった時があった。私は、長老たちに辞めると言おうとを決心した。しかしその日の前の日曜礼拝で、ヘブル10:32-30から御言葉が読まれた。そこには、『あなたがたは、光に照らされた後、苦しい大きな戦いによく耐えた初めのころのことを、思い出してください。』とある。まさに、その通りであった。

やめないで、神にすがり、力を得なさい

過去において私たち狭い、独善的な教会から『閉め出された』時、その誤り導かれた人たちは、私たちを完全に切り離してしまった。私たちは33節と34節ほぼそのまま体験した。35節から、続く。『ですから、あなたがたの確信を投げ捨ててはなりません。それは大きな報いをもたらすものなのです。あなたがたが神のみこころ

を行なって、約束のものを手に入れるために必要なのは忍耐です。「もうしばらくすれば、来るべき方が来られる。おそくなることはないわたしの義人は信仰によって生きる。もし、恐れ退くなら、わたしのところは彼を喜ばない。」』

この御言葉はわたしに罪の自覚をめざめさせた。私は家に帰り、悔い改め、主に許しを求め祈った。主のとがめのすばらしいところは、主は又力づけ、強めてくださるところだ。私はこの御言葉にすっかり元気を取り戻した。感情と肉体の疲れもふっとんでしまった。

わたしは第二次世界大戦のはじめにチャーチルが行った演説が大好きだ。『浜辺で、滑走路で、野原や街路で、丘陵で我らは戦い、断じて降伏しない。』報告によれば、この後はマイクを手で塞いで、横にいた者に『いったい何を使って戦うんだろう、きっとビール瓶でやつらをなぐるんだろうな』といったそうだ。この演説は国にインスピレーションを与え、人々の創意を奮い立たせた。この様な言葉は勝利に導くものだ。

## 21. 度々突然に物事を変えたりしない。

永続的結果を生む大きな変化を突然もたらしてはならない。人は方向変換に時間がかかるものだ。その方面における聖書の原則などを学び、又それを考慮するゆとりが与えられなければならない。又、対話や関連資料を探索する時間も必要だ。

待つ事が大切だ。皆に表向きだけ『ついて』来てもらいたくはないだろう。後から悪影響がでないようにしなさい。牧師がこのように変化に対応すればおおくの分裂やもめごとは、防げるものだ。『ブルドーザー』のように強引に教会を変革し、失敗する牧師もいるが、祝福のかわりに悲しみが生ずるのだ。

変化が多すぎると、人々は不安定になり、自信喪失する。会議から帰る毎に、会議のテーマにあわせて物事を変えるリーダーもいる。

しかしながらその反面、明らかに主が望まれる変化を頑固に拒むケースも多い。新しい神の導きについていく事をしない教会が、化石のようになってしまっている。

敬虔で平衡のとれ、賢い者たちに耳をかたむける事は大切だ。聖書には『知恵の正しさは、その働きによって証明される』とある。これは、年月をこえてためされた知恵のたまものを示した賢い人たちに耳を傾ける、という意味だ。

知恵の正しさは、その働きによって証明される
-----------------------

年配のリーターたちはかったるいと思う若者もいるだろうが、実は彼等は素晴らしい知恵をもって前進しているのだ。私たちは後になって困る様なものを喜んで紹介したくない。

主が私にすばらしい『弟子宣教』プログラムの案をくださった時、それに伴った言葉が無ければ、わたしはまいあがっていたことだろう。『見よ、私はシオンに石を置き、これを礎とする。これは試された石、尊い要石、確かな礎。信ずる者は性急な措置を講じるな。』そのとき、わたしは主が私に、ともに一つ一つの石を慎重に、根気よく積み上げ築き上げることを望んでおられる事を悟った。この計画は長い目で見なければならぬ。3、4年後、それは世界中に、確かで永遠な成果を広げていた。

箴言 19:2 あまり足を急がせると過ちを犯す

## 22. 人と共感するのはいいが、自分の鬱憤をまきちらさない

私の『人間性』を人々と分かち合う事は、弱さではなく、むしろ私が彼等の上に立つ者ではないことを示し彼等を力づけることを理解できたことは、素晴らしいことだった。私たちは人生街道を歩む者であり、同じ様な経験と反応を分かち合える。試練に会ったとき、心は様々な反応を示す。わたしも、隠れた怒り、仕返しへの念、ひそかなプライドなど、自分の経験したことを皆と分かち合う。教会の皆に、時に愛がたりなかった場合の話をしたりする。

もちろん、これは『マイナスな空気』を作り出してしまうので、いつもこういう話はしない。また皆の目を私だけに向けたくはない。私たちは心を『勝利モード』に保っていなければならない。私はいつも、キリストが多くの人に打ち克つ助けになってくださったことを話している。

人々と共感することは、自分の鬱憤を（それがあれば）教会内にまきちらすことではない。牧師の中には『泣き虫』がいて、自己憐憫にひたっているものがある。ノイローゼ気味のものもいる。家族に聞いてみるといい！

もしあなたが、始終真の鬱を経験しているようであれば、クリスチャンのカウンセラー又は医者にかかりなさい。

次は1991年4月2日朝、死後世間から忘れ去れるという私の恐れを神が打ち克たせて下さった折、書き留めたものだ。

私は5時半に起床した。暫くの間目が冴えていて、多くの考えが頭の中を駆けめぐっていた。教会の人々をないがしろにしているか？99頭をおいて、一頭を追うべきか？それとも、町の大通りに出て、見かけた者はだれでも婚宴に連れて来るべきか？人類に花嫁衣装のことをしらせるのが私の責任だろうか？このような思いが頭の中を去来していた。

そして、祈り始めると、涙がわき上がって来た。わたしは、イエスキリストと精霊を知っていなければならないほど知らないことを告白した。（それでいて、父なる神は知っていると感じていた。）私が真実として知り、ひとに説教して来た事全ては、死んで向こう側に言ってみると、なにも無いのではないか？死後に意識はなく、単に生態循環の一部になり果てるのだろうか。

神に正直に話しなさい。どっちにしても、主はすでに分かっておられるのです。

誰とこれを分かち合えばよいだろう？いつも説教している人たちにこんな話をすれば、彼等の信仰を弱めることになる。皆に説教し、導いて、死んだ後、誰もそこに迎えに来ていなかったら？今更、やめる訳にも行かない…何たるジレンマ！御言葉が本当だと人を説得するのは得意として来た。しかしこの密かな恐れが去らない。余命20から30年、なんとはかなく短い時間だ。このような想いによく襲われる。

『父なる神よ、どうか私の信仰を強くして下さい。お姿を新たに現して下さい。』と、私は叫んだ。

そして23年前、キリストが力強く現れた事を思い出した。そして3年前のある朝午前三時に、キリストが私に新たな計画を用いて布教する事を命じられた事を。しかしこれさえも、私の恐れを消す事は出来なかった。どうしよう？

その時、神が近づいてこられるのを感じた。彼は私の手を取って、地球の周りを歩み、創造物の限りない素晴らしさを見せて下さった。私はDNA構造の驚異、地球生態系の素晴らしさ、テレビやラジオ電波、宇宙電波、等に思いを寄せた。その時神の声が聞こえた。『星を見上げてごらん、星雲への気の遠くなるような距離、その運動の速度を。』そして同時にこの美しい惑星、地球の静けさと堅さを感じた。

その時、神の声が、思いやりに満ちて、自信を与えるようにそっと囁いた。『ジョン、私を信じるのだ。』私は、まるで幼子のように感じた。主は星や星雲を見上げる私の手を取り、『私を信じて！』と言った。主は振り返り、私を見て、『君の今の気持ちに最も当てはまる答えは、君の手元の本にすでに与えているよ』と言われた。私は聖書を手にしていたのだ。直ちに、大いなる平安が私の内を満たした。答えが与えられたのだ。『私を信じるのだ』。

その通りだ、あの素晴らしい『本』を超える説明はありえない。神は永遠のメッセージをそれには到底及ばない人間の言葉で説明したのだ。ヨブが、『わたしの知識を超えた』と言っています。

パウロは、『わたしたちの知識は一部分、預言も一部分だから。完全なものが来たときには、部分的なものは廃れよう。』と言っています。1コリント13:9-10, 又12節では、『わたしたちは、今は、鏡におぼろに映ったものを見ている。だがそのときには、顔と顔を合わせて見ることになる。わたしは、今は一部しか知らなくとも、そのときには、はっきり知られているようにはっきり知ることになる』とある

今、私には、大いなる、全てを越えるやすらぎがある。主と共に星を見上げる時、『私を信じて!』との主の御言葉がわたしに自信を与える。そう、主は私の手に今の気持ちに沿った、最善の説明を与えて下さったのだ。

これを教会で話したとき、知性にひっかかりがある人たち多数が解放された。疑いをもたらす代わりに、信仰を解き放ったのだ。人と立場をわかちあうことを恐れてはならない。

私が神に導いたばかりのある刑事は、ある時私に神の存在を疑った事があるか、と問うた。私はこの経験を分かち合った。『それはとても参考になりました』と彼は言った。私の経験から正直に立場を分かち合う事は、彼の信仰を妨げる代わりに、強めたのだ。

使徒トマスは、疑い深いからではなく、真摯でありたい思いで、疑った。彼の信仰は困難に満ちたインドへの旅へ、そして最後に処刑へと彼を導いた。トマスはイエスを愛した。

あなたが実証を求める事に罪悪感を抱く事は無い。クリスチャンは決して愚直であってはならない。

## 23. 誇張無く、そのまま話さない。

誇張は、人または教会全体を虚実または現実離れした立場においてしまう。人が誇張する度合いはまた、その人が騙される度合いに等しい。一旦だまされると、欺瞞がひろがる。

ある説教師と共に仕事をした有名な聖職者と話をしたことがある。この説教師は、たぶん20世紀で最も驚異的な奇跡を伴うミニストリーをおこなっていた。しかし残念な事に、亡くなる前には、欺瞞の予言と、教えを行うようになっていた。『この人は誇張するくせがありましたか?』と私は彼に聞いてみた。その説教師と7年間ともに働いていた兄弟は、こういった。『その通りです。説教の後、よく彼に「兄弟、なぜ物事をその通りにはなさないのですか」と聞いたものです。答えは、「これは私の話し方ですよ」とかれはいたものでした。』その説教師から法にこだわった、排他的な宗派が発足した。その人々は、彼の欺瞞を信じ、彼を終末の予言者として敬っている。

上は極端なケースだが、誇張する傾向は、偏った教会を生むので、気をつけなければならない。

私が座右の銘にしている聖句は、2テモテ 2:22 『清い心で主を呼び求める人々と共に、正義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。』だ。義が信仰と愛と平和の前にく

る事に注目して下さい。聖書には他の何よりも義の者にたいし、多くの恵みが約束されている。

聖書には、『嘘を言ってはならない』とある。誇張は一種の嘘である。説教師は時に、話を誇張することがある。わたしたちは冗談にこれを『福音伝道風』と呼ぶ。残念ながら、こういった人たちに多くの信者がついていくことが多い。

牧師や宣教者は真実を語る、信頼すべき男女でなければならない。そうでなければ、世の中にはもはや希望が残っていない。

## 24. リーダー達 と密接に連絡を保て。孤立するな。

あなたの教会のリーダー達と密接に連絡を保っていかなければ、危機に陥った時、何人かはあなたを支持しないかもしれない。リーダー同士のよい関係は教会の成功と神の祝福になくってはならないものだ。

ある牧師が、多数の者が彼の教会から出て、3 kmほど先に新しい教会を始めたことを話してくれた。これは彼にとって衝撃だった。話を聞くうちに、彼がリーダー達と緊密な関係を保っていなかったことが明らかになった。特に一団を率いて出て行った者と。

危機に陥った教会や牧師の手助けをするとき、事の本当の原因はずっと前からあったことを発見する。緊密な関係を育てていたなら、いずれも防ぐ事が出来たものである事が多い。

リーダー達と、広く話題を持ちなさい。仕事や霊的な事だけではなく、コーヒーを飲みに行ったり、彼等の伴侶と共に気楽な社交的集まりを催しなさい。ゴルフを恒例に楽しむリーダー達もいる。伴侶とのコミュニケーションをオープンに保つ事によって、将来のトラブルが防げる事が多い。

牧師は人によって傷つけられやすい。傷つけられた後は孤立しやすい。
----------------------------------

孤立の兆候は：

1. 自宅又は仕事部屋で過ごす事が多くなる
2. リーダー達のミーティングが少なくなる
3. 人を避けるようになる
4. テレビを見る事が多くなる
5. 人と気持ちや思いを分かち合う事をしなくなる
6. 霊の傷が重症になると恐怖症になる



私たちはバランスを保ち、ビジョンを鋭くするために、リーダー達と緊密な関係を保たなければならない。

神のリーダーシップが（父、子、精霊）緊密な関係を保たなかったら、どうなるか考えて見なさい。キリストが天なる父と近かった事は、私たちのお手本になるものだ。

## 25. 人の秘密を守りなさい。愛は多くの罪を覆う。

テモテ3:11、1コリント13:4、箴言11:13

人の秘密を喋る誘惑は大きい。それが興味深い話題を提供するときには殊更。

牧師やカウンセラーは伴侶に内々で話をする。そして又伴侶は親友に話し、親友は又ある人がきっと興味深だから、話し、そのひとは祈ってあげる事が出来るかもしれない！そして話は伝わり、教会の半分が話を聞いていることになる！この人が知ったら、なんと悲しいことになることか。

このような話は、広がり、尾びれがつく事が多い。

箴言11:30には、『悪口を言い歩く者は秘密をもらす。誠実な人は事を秘めておく』とある。たとえそれが事実であれ、兄弟の名誉を損なう様なことを言うてはならない。

悪口は石炭のようにあなたの手を汚すかまたは火傷させる。

『悪口への一番確かな対処法は、善行によって打ち克つことだ。』

嘘を言う事についての面白い実話を思い出す。

二人の親友がとても仲が良かった。ある日、その一人が彼の友についての噂を聞き、その正誤を尋ねる事もせずに信じ、ほかの人達に喋った。伝わる毎に話は大きくなった。彼の親友がその話を聞き、友情は破れた。

何年か経って、この名誉を損なわれた男は死の病に床に伏せていた。噂を広めた彼の友が病気の事を聞きつけた。彼は友を見舞い、過ちを告白し、許しを乞い、病人はすぐにそれを与えた。

『さて、』と死にかけている男が言った。『一つ僕の言う通り、してほしい事がある。僕の羽枕を持って、庭に羽をまき散らしてくれ。』

変わったことを言う、と思ったが、訪れた友は、言われた通りにし、友のベッドのそばに戻って来た。

『さあ、』と病人が言った。『今度は羽を拾い集めてくれ。』『それは無理だよ』と友が言った。

『その通り、』と被害者は言った。『私の噂をばらまいたのは、喜んで心から許す。だが私の許しは、行われた悪を直す事は出来ない。あちこちにばらまかれた私の名を損なう噂話は取り返しがつかない。』（テトス3:2, ヤコブ4:4 1ピーター2:1)。

今度は羽を拾い集めてくれ。

聖書には『囁く者達』のことが書かれている。ハンナ・ムーアは対処してきた。

誰かについて悪い事を聞くと、決まって彼女は『さあ、その人のところに言ってそれが本当かどうか聞いてみましょう。』これは時に、痛い効果を生んだ。噂した者は、驚き、しどろもどろに言訳をし、話を気に留めないように彼女に乞うた。

しかもこの婦人は徹底していて、しばしば噂話をした物をその話題の主のところに連れて行って、話を確かめた。

ハンナ・ムーアに再び噂話をもっていくものはそうないだろう。

この詩が役に立つかもしれない：

誰かがある人について  
話す噂話をつたえることを  
したくなったなら  
口を開く前に、3つの金の門“

3つの狭い門：先ず、それは真か？  
そして、それは必要か？あなたの心に、  
正直に答えてご覧、そして、最後に、  
最も狭い門：それは親切か？

そして最後に3つの門を通り、  
あなたの唇に達したならば、  
話を伝え、その結果を  
恐れる事は無い。

ある伝道者が噂をしている者に言った。『その人について君が言う前に、君に3つ聞きたい事がある。

- 1.この話をして、私のためになる事があるか？
- 2.この話をして、君の為になる事があるか？
- 3.君が私にこの話をして、話題の主のためになる事があるか？

言わなくてはならない話もある。これは、事柄が犯罪的である場合、教会全体に影響する場合、他の人たちに危険が及ぶとき、ある者が罪深い行為を繰り返している場合等である。

教会全体の前で誰かに対処する事は、私は気が進まない。ある離婚した男が、長年クリスチャンであったが、彼は教会の入信したばかりの未婚の母たちを口説いて廻っていた。数多きカウンセリングと忠告のあげく、彼は未だ一人の若い女性にセクハラを続けていた。私は、教会全体に1コリント5から説教した後、長老達の確認をとって、この男がこの教会にはもはや歓迎されないことを公言した。彼は会合に出席していなかった。残念ながら、かれはその若い女性を主から連れ去って、彼女と関係を続けた。

私たちは『愛は多くを覆う』事を出来る限り実践せねばならない。私たちと共に葬られる秘密は数多い。

## 26. ミーティングは、切れ味よく

教会全体の雰囲気祈りに込めなさい。会合を精霊によって建て上げるのです。取りなしにおいて難関を突破するのです。勝利の姿に入りなさい。私は自分が最も弱く感じるときに、神に助けを呼びます。そんな集まりが、私たちの最もパワフルな集まりです。神がこの教会に責任を与えられた私が霊において調和している時、会合は目に見えて祝福される。これは私がリードしていないときもそうだ。

会合の霊的側面も大事だが、実際的準備と、やり方もそうだ。教会によっては怠惰、のんびりしすぎたり、礼拝のやりかたがだらしない事もあるかもしれない。ティーンチャレンジに私がいたとき、およく使われた言い習わし、『ぶっつけ本番で行くんだよ、兄弟』を使った。我々は、これは霊的だとおもっていたが、教会の環境には合わない。集会の計画はしっかりたてねばならない。私たちは精霊が計画外のことをもたらすことができるようゆとりを持たせなければならない。一部の者が考えるように計画性が油注ぎを減少させる事は無い。モーゼの天幕の綿密に計画された礼拝に神の栄光が下った。天国は緻密に計画されて、それでいて聖なる余裕と安らぎがあるところだと私は信じる。そして私たちの集まりもそうでなければならない。

歌をリードする者は切れ味よく、音楽隊は優秀に、前に立つ歌い手たちは、ふさわしい服装をし、晴れやかでなければならない。音響システムは支障無くはたらいていなくてはならない。これは、芸能界ではない、そう、これは神の神殿なのだ！

時間をだらだらさせてはならない。人々の集中できる時間範囲を超えて話を続けないこと。彼等は話のよいところを忘れてしまうだろう。入り口で人を迎えるのに最も適した人たちを配置すること。彼等に礼儀正しく、『イエスの微笑み』をするように教え込みなさい。

## 27.人からの批判に反動したり、問題ばかりを口にしない事。

度量の小さい人は批判されると怒るものだが、賢い人は批判から学ぶ。マッカーサーとチャーチル両方の執務室の壁に、アブラハム・リンカーンのこの言葉が飾られていた。『私に対する攻撃の全てに目を通したり、返事を書くとするれば、この事務所は他の仕事をすべて閉め出すことになるだろう。私は自分の知る限り、そしてできるかぎり最善を尽くしている。最後まで、そうしつづけるつもりでいる私は自分の知る限り、そしてできるかぎり最善を尽くしている。最後まで、そうしつづけるつもりでいる。もし最後の**結果**が良ければ、私に浴びせられた非難など問題ではない。もし最後の**結果**が悪ければ、たとえ十人の天使が私を弁護してくれたところで何の役にも立ちほしない。』

人が不当に批判する事を防ぐ事は出来ない。しかし、もっと重要な事をする事ができる。それらの糾弾に影響されないように心を決める事だ。

自己正当化は個人の尊厳と偉大さを損なう

困った事に、我々は教会の誰でもが、全てにおいて私たちが完璧だと思ってもらいたがる傾向がある。私は教会の皆からの高い期待から解放してもらおう為、失敗する自由を与えてくれるよう、お願いしている。

誰かが言った。『誰でもが毎日5分間は馬鹿をする』と。

自分の批評家になろう。我々の敵がすきを見出す前に、対処をしよう。リーダー達に公平で、有益な、建設的批判をするよう、頼むとよいかもしれない。

ちょっとした事にくよくよししない方がよい。真面目すぎる事はよくない事もある。

何かが気になっている時は、それが頭の中を独り言で占めてしまう。これはほかのものには話さないほがよい。話すとそれが広がって、君の為にならない。

批判はおさまる迄待つか、そのもとの当人と話をするとよい。『キリストの精神』をもって話し合いなさい。批判をしていた者と面と向かって話合うと、彼等は自分の言った事がいかに馬鹿げていたか、気がつくものだ。我々はそれほどひどくはないものだ！

マタイ5:21で、イエスは言われた。『わたしのために人々があなたがたをののしり、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いです。喜びな

さい。喜びおどきなさい。天ではあなたがたの報いは大きいから。あなたがたより前にいた預言者たちを、人々はそのように迫害したのです。』

## 28. 仕事を全て自分でしようとせず、人に任せなさい。

2テモテ2:2

仕事を人に任せる事がなかなか出来ない牧師たちがいる。これはいくつか理由があるかもしれない。

1. 以前人に頼んだ仕事をまともにしてもらえなかった、又は自分の好みに仕上がらなかったの、人を信頼できない。
2. エペソ4:11-13 賜物は、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであることの重要さの理解がない。
3. 手を放したくない
4. 計画するのが下手。前もって電話をしたり、分かりやすく指示を与えるのが苦手。

人に仕事を任せる事が出来ない牧師は、教会を大きくする事は出来ない。もしそうしても、疲労困憊するか、やめるはめになる。

ここで参考によい本を薦めよう。アラン・ロイ・マックギネス著の **Bringing the Best in People** という本だ。これは一般の書店で安価で購入できる。他の人たちが秀でることを楽しく手助けする方法を教えてくれる。

この反対に問題になるのが、何でも人に任せてしまう場合だ。これをすると、牧師は怠けてしまい、神から授かった賜物を用いなくなる。この場合彼は責任を放棄することになる。

## 29. 気の合わない牧師たちと共に働くことを学べ。

イエスは扱いにくい弟子達と共に働いた。神は私にも何人か私なら選ばなかった様な者をともに働くために与えたもうた。

神における学び、我々の聖別の過程の一部は、様々な人たちとともに働けるための愛に成長することだ。虫のすかない者達からはなれて『自分好みの』ひとたちのみと動く事は容易い事だ。ともに働くのが到底不可能のような者もいるかもしれない。分かれる前に、出来る限りともに働くための努力をしてみる事だ。

場合によっては、分かれる事が教会にとって一番よいことになる。

まずその人の考え方を理解し、そして神にその人と共に働く能力を授けて下さるよう祈らなければならない。

かの偉大な僧侶、トマス・ケンピスによる『キリストにならいて』からの抜粋がここにある。

『もしあなたが、自分が願うような者に自分自身を変えることができないなら、どうして他人を自分の思いのままに曲げることができるのですか。私たちは他人が完全であることを求めるくせに、自分自身の欠点を正すことはできません。私たちは他人が厳しく矯正されることを望むくせに、自分自身を矯正しようとはしません。他人の自由は不愉快に思うくせに、自分の求めは拒否されたくありません。他人のことは律法で縛ろうとするくせに、自分のことは何ものにも縛られたくないのです。このように、私たちが自分のことを思うように他者のことを考えることは滅多にないことは明らかです。

もし皆が完璧なら、神のために他者からどのような苦しみを受けることが出来るでしょうか。しかし神は、互いの重荷を負うことを学びなさいと私たちに命じられました。欠点のない人、重荷を持たない人、一人でやっていける人、十分に賢い人、そのような人はいないのです。ですから私たちは互いに支え合い、慰め合い、助け合い、相談し合い、助言し合うべきです。』

### 30. 説教では、御言葉をくださいあたえるように。そのままではいけない。

人々を激励するだけではだめです。彼等に糧を与えなさい。この二つの間には違いがあります。

激励することは、人に麦を全粒そのまま与える様なもので、胃が消化しきれない。その麦を割るか、粉に引くと、食べやすくなる。御言葉も同じく、食べやすくし与えねばならない。

どのように？二つの方法がある。

まず、私たちが人々に糧を与えようと思うならば、私たち自身が『壊れて』いなければならぬ。御言葉は私たち自身の人生により、砕き開かれなければならぬ。

次に、御言葉はたとえ話により、砕き開かれねばならない。私たち自身の経験、実話、たとえ話によって。旧約の話により新約の真実に焦点を当てなければならぬ。福音書は聖書の型を与え、書簡は型に関する教えを与え、旧約聖書は型と教えに解説を供する、と言った人がいる。

これは、3段階に教える事が出来る。先ず、実際記録された出来事の中の型を見る。例えば、十字架のキリスト。次に、書簡から、なぜゆえエスが十字架にかかったか教え、そして旧約から、十字架のイエスの様々な局面の解説、又は『型』を見

る。これ等は、新約に直接にはない、神より授けられた情報を提供する。もちろん、これは新約にて確認されるものでなければ、『変な教え』が出来上がってしまう。

上手に人とコミュニケーションをとる事を学び、同時に謙虚さを保ちなさい。

私は常に、話の途中で『例証の窓』をいれない説教者に耳を傾けるのが苦手だ。実際、このような者の下では人はなかなか成長しない事を見て来た。

あるトピックの用語索引を調べて、数多くの聖句を次々と聴衆に投げつける説教者がいる。全て聖句を声で強調し読み上げる。これは丸ままの麦粒を与えている様な者である。

これ迄の内容にバランスを与える為、もう一つの極端の、沢山の話をし、御言葉がは入らない内容もさけたいものだ。御言葉が真実の基礎でなければならない。話と事例により、それが砕き開かれるのだ。

### 31. 常に熱心さをうしなわず、物事を深刻にとらえない。

年を取ると共に私たちは陰気になりがちだ。顔も険しい表情になる！私は時々鏡やビデオで自分の顔を見て、『おい、ウォルトン、もっと気楽にしろよ！』と呼びかけてしまう。

われわれは、人生と責任に関し、深刻になりすぎることがある。大事な事柄には関わらねばならない事もあるが、私たちは霊の快活さを保たねばならない。これは、私たちの聖職、健康そして長寿に欠かせない。

リーダー達は、もっと気楽にしなければならない！

パウロはテモテに、長老達は『厳格』でなければならないと言っている。これは、墓に入る事ではないと私は思う！そのようにとる人もいる。パウロもこう言っている。『主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい！』

牧師やリーダー達が集まったとき、笑い声があがり、それは素晴らしい。しかし時に、笑いの下に、重荷を背負った霊が見える。彼等は一人の時は、どうしているのだろう。箴言14:13に『笑うときにも心は痛み』とある。

私たちはもっとひとりで歌をうたう事をすれば良いかもしれない。『霊の歌をもって主に向かって、心から歌い、また賛美しなさい。いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって父なる神に感謝しなさい。』歌はなんと素晴らしい療法だろう。私たちの歌は、私たち自身の霊と魂に働きかけることができる。詩編の作者もそれを用いた。『なぜうなだれるのか、わたしの魂よ／なぜ呻くのか。神を待ち望め。』

## 32. 毎日の祈りを充実させ、御言葉を黙想する時を持って

### 詩編1

私の父は、主に生きる代わりに、自分たちの聖職に生きる事はたやすい、と言ったことがある。これは45年前だったが、私はそれを片時も忘れたことはない。私たちは鋭さを失いがちだ。そして聖職を満たす事に終始し、精霊で再充電する事無く、無理を押し切りやすい。

御言葉を黙想することは、『新鮮さ』を保つ最も素晴らしい方法だ。詩編1:2-3、『主の教えを愛し／その教えを昼も夜も口ずさむ人。その人は流れのほとりに植えられた木。ときが巡り来れば実を結び／葉もしおれることがない。その人のすることはすべて、繁栄をもたらす。』

私にとって祝福の源であった本を薦めよう。リチャード・フォスター著、The Celebration of Disciplineだ。その中に「黙想による鍛錬」の章がある。この本はきっと役に立つ。是非読んでみて下さい。

歴史の中、伝わって来た僧侶達の著作も実に私に祝福をもたらしてくれた。これ等は永遠の黙想の成果である。トマス・ケンプスの『キリストにならいて』と、ブラザー・ローレンスとフランク・ラウベックの『神の臨在に在る修練』には珠玉の祝福がある。ブラザー・ローレンスは17世紀に生きた僧侶、ブラザー・ラウベックは20世紀初頭の人だった。

ブラザー・ラウベックからの抜粋をここに記す。『私たちの努めは、変貌の山における神の臨在の美しさの中に、キリストとともに光のように白くなる迄住まう事です。というのは、キリストに習う人生は栄光に満ちたものだ、これが最も深い真実なのです。神を失わない限り、敗北はありません。神を失えば、城に住まい富に埋もれてもすべては敗北です。

彼は『最善の行動：神と多く語りなさい。』という言葉を残した。

『キリストにならいて』を無作為に開いてみると、この箇所が現れた。『神の聖さん杯を愛情をもって飲みほしなさい。主の友人であり、主の一部であり続けたいならば。神の氣にいるようになすつもりなら、神に慰めをゆだね、神のなすがままにまかせなさい。あなたの方では、苦しみに耐え、苦しみをもっとも大いなる慰めと考えられるようにしておきなさい。というのは、たとえあなたが一人で苦しみを受け入れなければならないとしても、この人生での苦しきは、やがて来たるべき栄光とは比べものにならないほど価値がないのだから。』

福音主義派の者達はこのような偉大な神の民から学び、考え方のバランスをとらなければならない。彼等は神を真実知って、黙想により魂に力を得たのだ。



朝の『静かな時間』を設けるのは非情に重要だ。しかし、それが『臨在に在る生活』に我々を導き、保つのでなければ、残念ながら何か欠けている。牧師達が神の力と祝福を勤めの上で知る為にはヨハネ15章、『あなたがたがわたしにとどまるなら...』を常に、体現しなければならない。

### 33. 教会員間の罪の実情を過小評価してはならない。人はうまく隠すものだ。

1コリント5:1

時に私は人飲みかけにすっかり騙される事がある。ある日曜の集まりの後、見かけた男の顔が晴れ晴れとしているように私には思えた。妻にも、そう言ったのを覚えている。後にカウンセリングの折、彼はその前の晩、姦淫におよんだことを告白した。

人類初の発明は罪を覆い隠すためのものだった。

人々は、罪を覆い隠すため、過補償するものだ。東洋に行ったとき、ある中国人の婦人が、姦淫を長らくおかして来た事を告白した。彼女は一见、堅実な身なりをし、信心深く敬虔に見えたのに！

時として、教会の聴衆を見渡すと、後ろめたそうな顔を見かける事がある。しかし、立派そうに見えても、騙されるな！私は世界一敬虔な、規則でがんじがらめな教会で育ったが、主な信者が売春婦を訪れたり、近親相姦、田舎では獣姦等など、それは口にするもはばかる様な罪で満ちみちていた。この教会では『告白の時間』があり、このような醜い罪が暴露された。ひどい冒涇だ。

ウオッチマン・ニーは言った。『宗教は肉を鎮圧する。しかし肉は鎮圧されるには強力すぎ、よりひどい形で頭をもたげる』。

### 34. あなたのせいで無いなら、その責を負う事は無い。

例えば、あなたがこれ迄3回も癒しを祈った愛煙家がやって来て、俺はまだタバコをやめられない、そしてこれはお前のせいだ、とでも言うようにあなたを睨みつける。

自分は失敗した、とあなたは感じているかもしれない。私の祈りの効果は無かった。君は愛煙家ではない、これは彼の問題だ。もし彼が肺がんで死んで主のもとに行き、『主よ、あなたは何故、私をがんで死なせたのですか？あの説教師の祈りは効きませんでしたよ。』と言ったら、主はきっと感心されないだろう。彼はきっと『お前が煙草を吸ったのだから。』と仰るのではなからうか。

これは結婚生活カウンセリングと同じだ。長期カウンセリングを受け続けたあげく、未だ口論ばかりしているカップルが、まるで彼等の問題が解決しないのが牧師の問題であるかのように、睨みつける事がある。

この社会は何でも人のせいにする風潮がある。巻き込まれるな。

### 35. 人をえこひいきしたり、特別扱いしない。

礼拝の後の時間は、来ているもの一人一人と話しなさい。それぞれに専念しなさい。誠心誠意耳を傾けるのです。

実は私自身も、面白い人たちに惹かれるので、自分の短気を克服せねばならなかったことを告白します。今は、大して重要に思えない様でも、その人にとって重要な話に耳を傾るようにしています。

ここで、本当に会った話をしましょう。昔、とてもおしゃべりな人が隣に住んでいました。それこそ、話しだしたら途端、スイッチをきりたくなる様な、そんな人でした！

ある日、彼女は私と妻に話をしていました。それは彼女にとってとても大事な話だったのですが、私はすでに興味を失っていました。私は頭では全く関係のない事を考えながら、彼女には『はい、いえ、そうですか』などと返事をしていました。彼女の話が、車がバックして子供をひくところになって、私は『それは素晴らしいですね』と返事をしてしまったのです。彼女は混乱した表情で私の顔を見ました。妻に振り向くと、妻は私をにらみ、そして、『ジョン！』と一言。そこでどうやら、何か大事な話を聞き落とした事に気がついた訳です。妻は、丁寧に上手に言い訳をし、私は責を免れました！

### 35. 時期尚早に状態に判断を下さない。

1コリント4:5

状態とは何をさすか？それは、表立った行動又は罪を生ずる霊的『心の状態』のことです。

物事の時が熟す前に、事実があらわになり、証拠がそろう前に、判断をくださいと、それはあなた自身に『しっぺ返し』となって帰ってくる恐れがあります。わたしは、時期が熟す前に、物事や状態を解決しようとひっしになっている牧師達をよく見かけて来ました。これは、教会内の否定的で反生産的徒党であるかもしれない、そのような場合、実際の問題は表に出ていないかもしれない主が戻って来られるその時

迄表に出ない問題もある。その時がくれば主は『闇の中に隠されている秘密を明るみに出し、人の心の企てをも明らかにされます。』1コリント4:5をご覧ください。

主が戻ってこられる迄あきらかにならない罪もあります。

隠された事柄に対処できなかった事も、私にはあります。私は、神の懐にしか頼みとでするものがありませんでした。私は神の前に心中を注ぎだし、そして神に委ね待つ事をした後に、神が私のいかなる努力よりも優れた対応をして下さいました。神の誤りの無い正義と手腕に圧倒され尽くした時が何度もありました。問題は、神のなさることは時間がかかる、ということです。私たちは根気を学ばねばいけません。

教会に問題があるとわかっている、プラスにもっていかねばなりません。人の『状態』にもかかわらず、愛する寛大さを身につけなさい。

猜疑心に陥らないように。使徒パウロは私たちをはげましています。教会は探偵をするべき場ではありません。旧約聖書では、祭司は衣の裾に錫を付けていました。これは人に忍び入らないように、という意図であったのかもしれませんが。きっとあなたは、もっと霊的な理由を思いつく事でしょう！

### **37. あなたの出来る事をよくしなさい。できない事について、気をもまないように。**

イエスは多くを成し遂げましたが、他の人にさせる事も多かった。

私の経験からして、牧師は自分が出来ない様々な事柄に、自分を責める事が多い。人々は牧師に様々な要求を突きつけ、牧師自身自分に要求する事も多く、到底時間が足りなくなる。失敗したと思う事柄が、ストレスとなる。私たちは勤勉で時間を能率的に使わなければならないが、『人からのプレッシャー』に屈してはならない。

忙しいと口にするな。口にしても能率があがらない。ただ同じところをぐるぐる回るだけになる！

私たちは偉大な神の民の人生を記録し凝縮した伝記を読んで、もっとなすべきだと自分を責めるかもしれない。彼等の人生をチャレンジとして受け止めるのはよいが、あなたの全人生の業績が本になったとしたら、あなただって感嘆するかもしれない！

## 38. 成熟した姿勢を保て

牧師は姿勢と態度において、常に大木のようになくてはならない。ヒマラヤ杉は森の木々より遥か高くそびえ立ち、足下の茂みの棘を感じもしない。

成熟は心の態度だ。

成熟は知識ではなく心の態度だと私は信じる。

「態度」を思う時、私は飛行機の翼を思い浮かべる。姿勢が上を向いていると、高度を得るが、下を向いていると高度を失う。これは人生にもあてはまる。プラスの姿勢は上昇を、マイナスの姿勢は下降をもたらす。

成熟した態度はみみっちくない。ちっぽけなことは気にかけず、人の成功を喜び、人を許し、建設的で、包容力があり、自制心に満ち、謙虚に教えを受ける。

我々牧師達とても、幼少時から様々な行動様式を身につけてきている。私たちは出来事や状況に肉から反応することもあるだろう。そうしてはいけないと我に返って恥ずかしく思うこともあるだろう。私たちも欠点だらけの人間であると認めると同時に、私たちは率いる群れの規範であらねばならない。

こういった問題を乗り越える為に、説教の準備の為のみならず、私たちは己の成長の為に御言葉を学ぶ必要がある。そして又、自分に正直であらねばならない。おのれ自身に忠実であれとシェークスピアも言っている。これは、成熟への道程のよいスタートだ。

## 39. 誘惑や惑いを信頼できる成熟した者と分かち合え。

誰しも人間の弱みで誘惑にかられることがある。悪魔は羊飼いを倒せば羊を散らすことができるのを知っているので、私たちが誘惑にさらされる事はより多いのかもしれない。

有能な説教者は女性に魅力がある事が多く、性的引力が働きだすことがある。これを芽のうちに刈り取らないことには、思い、視線、言葉などから強力なものになり、次には微妙な接触、そして理屈をつけて合理化してしまう危険がある。御言葉さえもごまかしに用いはじめる。その次は、「一回だけ」ということになり、その時はもう遅い。あなたは捕われている！

こういう時は、その思いが常に頭からはなれなくなる前に、どうか一時も早く信仰の篤い、信頼できる人のところ（男性は男性、女性は女性同士へ）へ行って、惑いを告白することだ。

牧師やリーダー達が告白し合うことで、どんなに悲劇がさけられることか。あなたが告白に行くその人は、あなたを祈りの盾で危険から守る事が出来る。あなたの心は重荷から解放されることだろう。

長年、私の歩みを守ってくれたことは、

1. 神を畏れる心
2. 心に蓄えた御言葉
3. 率いる者たちへの責任感（私の妻と家族、そして教会の信者達）

もちろん、性的誘惑の他にも多く惑いはある。嘘をつく事、金銭を使い込む事、霊的高慢など。ヤコブは『あなたがたは、互いに罪を言い表わし、互いのために祈りなさい。いやされるためです』と言っている。これは、牧師にも当てはまる御言葉だ。

## 40. 与えられた神の使命を尊びなさい

2テモテ 1:8,9

神は私たちが『聖なる招きをもって召していただきましたが、それは私たちの働きによるのではなく、ご自身の計画と恵みとによるのです。この恵みは、キリスト・イエスにおいて、私たちに永遠の昔に与えられたものです。』何という名誉だろう。私たちの聖なる招きは、キリストにおいて、『永遠の昔に与えられた』。

パウロは更に、10,11節で、『私は、この福音のために、宣教者、使徒、また教師として任命されたのです』と続けている。私たちの使命は、いと高き者からあたえられたものだ。

この招きには、与えられた義務と運命の自覚が伴わねばならない。捕われの身のヨセフがあらゆる事に成功することができたのは、十代の頃から、自分の運命の自覚があったからだとは私は信じている。

人は運命を背負った者についていく。

## 41. 自分の葡萄畑をないがしろにしてはならない。

『人の靴底ばかり修理する靴修理屋は、自分の靴底をないがしろにする事がある。』

他人の車を最高の状態に保っている車の修理工の車がぼろぼろなのを、私はしばしば見て来た。

箴言 24:30-34 にある。『なまけ者の畑と、思慮に欠けている者のぶどう畑のそばを、通った。すると、いばらが一面に生え、いらくさが地面をおおい、その石垣はこわれていた。』

聖職者は「生きる為に求める」代わりに「与える為に求める」傾向がある。説教を製造する事は容易いが、神の豊饒に生きるどころから説くほうがどれほど力強い事か。マタイ 13:52 は述べている。『イエスは言われた。「だから、天の御国の弟子となった学者はみな、自分の倉から新しい物でも古い物でも取り出す一家の主人のようなものです。」』その者は、日頃の黙想と熟慮から蓄えた宝蔵いっぱいの珠玉をたくわえている。彼の心は御言葉に満たされている。

祈りと神との出会いを通じて得た想いを日記に綴るのはよいことだ。毎日日記を綴り、日付を振っておく人もいる。

ある説教者が、自分の知っている事を全て説教してしまい、種が切れたので、町を離れようかと考えていると語った。「神と共に在る」人生を歩んでいる者なら、決して種が切れる事は無い。その者は常に信仰の実を結び、常に、『内に在る希望を語る』用意ができています。聖職者の話題が、常に教会内の力関係や組織に及び、神との貴重な出会いに触れないとき、私は強い懸念を感じる。

神における豊かな、清々しい黙想から語った者達をわすれられない。彼等は沸き立つ命の泉のようだ。

私たちの生活は聖職に反映され、下にいる者達は励ましや知識のみよりも、それに養われる。
--

## 42. 教会が小さいからといって落胆することはない。神は大も小も愛される。

教会の人数を増やす事に重点が置かれることから、小さい教会の牧師の多くが落胆し、劣等感にさいなまれている。教会を大きくする方法を学ぶ事は大切だ。勉強会に出席し、

本を読み、テープを聞き、ビデオを見、それらの方法を実践してみて、それでも教会が大きくなるとも、落胆する事は無い。神は小さい教会も愛しておられる。大きい教会よりも祝福され、霊に満たされる事があるかもしれない。マタイ 18:20 『ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいる』は強力だ。出来る限り正しい事をなし、他は神に委ねなさい。心配したり焦ったりしないほうが、成長が起こる事が多い。我々の教会の成長がいちばん大きかったのは、成長させようとしなかった時だった。宣教や計画は御言葉に基づいた教会の必須要素だ。それらをやめることを提案しているのではない。

### 43. 問題に焦点をあわすのではなく、目的意識をもつ

色々な問題に捕われすぎて、神における目的を見失う事がありがちだ。緊急事項が重要事項の妨げになる、これはよく言われることだ。問題は心を喰い尽くし、気力を失わせる。解決は必要だが、目的を目の前に据えおくことを心にきめることだ。

委託することを学びなさい。

モーゼは問題に消耗されていた時、ミディアンの人で彼の舅エトロは、計画的に仕事を委託するよう彼に忠言した。モーゼがすべてを自分で解決しようとしていたなら、カナンへイスラエル人を導くことは到底無理であったろう。教会に注入された神の目的意識は、前へ導き、問題をへらす。もちろん大きな問題を無視せよ、ということではない。大きな懸念があると、人々は前へ進むことが出来ない。羊が啼いているのに、知らん顔をしている牧師がいた。彼は私に、「神の目的をつかんだ者達とのみ、先へ進むのだ」と言った。かれはじきに辞めるはめになり、教会は傷ついた。

エレミヤ 29:11 『わたしは、あなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない』

### 44. ビジョンを持って。それは意欲を引き出す。しかし戦略が必要だ。

何年か前、何名かの教会員から、「この教会はビジョンに欠けている」という言葉を受け取った。私の反応は、マイナスで、反動的であった。私が何回も、ビジョンを分かち合ったときに、彼等はいったいどこにいたのか？と、私は思った。しかしながら、私は彼等の苦情を神のみもとに持っていった。神は御言葉から、ハバククの『幻を板の上に書いて確認せよ。これを読む者が急使として走るために。』を私の心に届けて下さった。ビジョンを書き記したものを人々の手に渡し、その者達が読んで実践できるようにする必要がある。

リーダー達もビジョン構築の過程に参加できるとなると良い。そうすると彼等もそれを自分のものとし、それに力づけられるだろう。このように作成されたビジョンはエネルギーと感動をかもし出す。ジョージ・バーナは、成長する教会は殆どのメンバーがビジョンを指導者たちと分かち合っているため感動があると言っている。

あなたの教会の長老達に、この教会のビジョンは何ですか、と問うたら、彼等はどうか答えるだろうか。全ての者がはっきりと、プラスに答えることが出来たなら、この教会にはまだ先がある、と私は思うことだろう。

一致したビジョンは集中力をもたらす。拡大レンズが集める太陽の光が木片に当り、火をおこすように、神の霊を受けたビジョンの光は、明確に焦点が合い、集中したならば、先ず煙、つぎには火をあなたの教会にもたらすことだろう。

ビジョンや目標は計画や戦略無しには意味をなさない。それは、実際的、実行可能な計画書に変えられねばならない。ビジョンでインスピレーションをもたらすのは容易い。しかし人々が『口ばかりで何もしない』と感じたなら、あなたは彼等の信頼を失うだろう。

## 45. 計画性をもて。行き当たりばったりはいけない。

**箴言 21:5** 『勤勉な人はよく計画して利益を得／あわてて事を行う者は欠損をまねく。』

大規模な計画は前々から準備があつてこそ成功する。ビリー・グレハムの伝導大会はその1年前から計画が始まる。準備のみならず、前もってイベントのことを知り、思い起こしている人々の心の中に、何か大切なことが起こる。それは教会にも安定感と未来への信頼感をもたらす。私たちは薄っぺらな、「ぶっつけ本番でやる」組織ではない。十分前もって計画することは天の領域において何か大切なことが起こりうるゆとりをもたらす。

## 46. 長期的展望を持って。人材養成に出資しろ。

**テモテ 4:15-16** 『これらの務めに心を砕き、しっかりやりなさい。そうすれば、あなたの進歩はすべての人に明らかになるでしょう。自分自身にも、教える事にも、よく



気をつけなさい。あくまでそれを続けなさい。そうすれば、自分自身をも、またあなたの教えを聞く人たちをも救うことになります。』

聖職における自己満足は嘆かわしい状態だ。現状にあぐらをかくのは容易い。もうかれこれ何年も手がけて来て聖書にも精通し、説教も上手くできる。なぜ今更知識や能力を向上する必要があるか。聖書に、若い頃は勤勉だった王が年齢と共に怠惰になった例が多くある。その隙を狙い、敵が襲撃、又は徐々に衰退が起こった。

私たちは歳とともにより鋭く、有能でありたい。年齢と共に神における生命力と能力が増している人に会うのは感銘深いものだ。そのような聖職者は若い者の規範となる。ペテロの書簡を読むと、若い頃とくらべ彼が信仰、手腕ともに成長したことが見受けられる。使徒ヨハネは高齢（百歳）にはいっても強力に聖職をおさめたと歴史にある。長命の王国では70歳は未だ幼稚園だ！

常にコミュニケーションスキルの上達につとめなさい。

日々絶えず御言葉を掘り起こしなさい。コミュニケーションスキルの上達に努めなさい。人と共に働くことを研究しなさい。あなたの賜物を輝かせなさい。年配の者達は、引退するよりも、数多くの者を助け、貴重な知識を伝えることができる。世代とともに衰退ではなく増加をみるようにしなさい。常なる改良と増加は将来において息子、娘達、家族、教会、世界の国々の恵みとなる。

## 47. 関連性があり、新鮮であること

広く人と付き合い、外部の人間関係も保ち、自分を見失わないように努めなさい。イエスは一番に罪人の友だった。

一般の出版物も読み、世界で何が起きているか知っておきなさい。今日の話題を取り上げ、神が御言葉で何を言っているか説教しなさい。神の視点がいかに賢明であるか、説くのです。説教する前に教会のリーダー達と話し合いなさい。考えつかなかった視点が出て来るかもしれない。又、反対意見の外部の人がいれば、話し合う。こうして、私たちにありがちな教會的な言い回しが避けられる。

新しく信仰に入って来た人たちを教えたり、教会外の人たちと交わっているとき、説教壇での話がより効果的、新鮮で適切となるのが、私の経験だ。

## 48. 広い世界との接点を保つ為に、教会外の友、活動を持つこと。

孤立したり、世間に疎く、宗教的になるな。パリサイ人のように狭くならないように。固い考え方は、深い人間関係とともに和らぎ、そして愛がしめされる。

イエスは神のもとに分け隔てられていたが、罪人から離れてはいなかった。罪人との交わりからイエスは世に疎く独善的なパリサイ人に迫害されたのだ。

私がよく牧師に与える質問は、信仰の無い人を招き、食事をともにしたのは、いつのことか、というものだ。親戚を除いて。『そんなことをいったって、忙しくて！教会の牧師をしているんだよ！』という答えが返ってくることもある。本当にしたいことにはいつでも時間を見つけるものだ、と私はこたえる。

米国ワシントン州のある牧師はロータリークラブの会員になることにより、社会の男性と交流を保っている。時を経るにつれ、彼の教会の長老は皆ロータリークラブから彼が信仰に導いた者達が占め、彼の教会は社会との関連性を失わない。

## 49. たとえ話や、話題を豊富に

これは、退屈な説教と面白い者との違いになることがある。人を楽しませるだけでなく、たとえ話は真実を生き生きしたもの、心に残るものにする事ができる。あの有名な中国の格言、一言は千言に勝るというのは、本当だ。

まず、神に話を語る賜物を授けて下さるよう、祈りなさい。イエスは話をするのが巧みで、彼の寓話は、常に彼の住む時代と関連があるもので、多くがその地方に多い、農業に関わるものでした。

たとえ話を集めたノートを集めなさい。主題毎に分けて、分かりやすいようにして。

たとえ話や、格言を集めた良い本を購入しなさい。例えば：

A Naismith “1200 Notes Quotes and Anecdotes” ,

Walter B Knight “Knights Master Book of New Illustrations?”

John Blanchard “Gathered Gold” , “More Gathered Gold”

また、たとえ話を集めたコンピュータソフトもある。“Bible Illustrator” , “Info Centre” その他、数々のよいソフトがある。

あなた自身の経験談は、説教を軽くする。

## 50. 怠け癖を付けるな

聖職者の非能率と、怠け癖はありふれすぎている。私たちは時間を作って、神の目前に用いなければならない。イエスは忙しくすることはなかったにも拘らず、多くを成し遂げた。この主題は箴言で多く扱われている。

悪いくせに陥ることはたやすい。効率を上げるよう組織だてて事に当たりなさい。この一週間どれだけ成し遂げたか、評価しなさい。率先して行動できるタイプではない牧師もいる。組織内の明確な責任管理のある仕事から上司のいない仕事に変わり、どうやって自己管理していいかわからない。タイム・マネジメントの良い本を購入して応用するとよい。一般社会の仕事で怠けていてうまくいかず、簡単だと思って聖職を選んだ牧師もいる。私にいわせれば、彼等は辞めるべきだ。

神の王国では能率が要だ。

## 51. 羊の世話をしなさい

エレミア10:21、ミカ5:4

**使徒 20:28** どうか、あなたがた自身と群れ全体とに気を配ってください。聖霊は、神が御子の血によって御自分のものとなさった神の教会の世話をさせるために、あなたがたをこの群れの監督者に任命なさったのです。

**詩篇 121:4** 見よ、イスラエルを見守る方は／まどろむことなく、眠ることもない。

エレミア23:1-4 「あなたたちは、わたしの羊の群れを散らし、追い払うばかりで、顧みることをしなかった。

人々のお世話より、いろんな企画に興味を奪われるのはたやすいことだ。コンピューターに夢中になって、時間を奪われる牧師もいる。すばらしいハンドブックや教材を開発して、群れの羊とふれあうことをおろそかにする牧師もいる。羊はそれぞれに、世話と養育を受けねばならない。教会員からの電話に、『忙しくて来週迄会う時間がない』と答えておいて、新しい装置や、趣味の道具となると、すっ飛んでいく！そういう時、本当の動機と勤勉さが知れる。

人々のリーダーを務めることは大切だ。しかし、羊の世話をないがしろにしてはならない。リーダーは人々の僕でなければならず、それが人々の心に彼を近づけ、彼のリーダーシップを伸ばす。

聖書における羊飼いの姿は、常に羊と共に描かれている。在るイギリス北部の牧師の話をおもいだす。彼は南の地方の違う教会に任命を受けた。彼が出発する日になって、教会員の面々が見送りに来て、心から別れを惜しんだ。馬車に乗り込む寸前、かれは人々を振り返り、『わたしは去る事が出来ません、どうか私をもう一度、受け入れて下さい。』と言った。彼は留まり、約25年後亡くなる迄、人々のお世話をした。彼は羊とつながった、人々と共にあゆむ真の羊飼いだった。

大きな教会では一人一人の教会員を牧師が人々を訪問する訳にはいかないが、リーダー達の世話をし、彼等が会員達のお世話をすれば良い。これこそ、エペソ4にあるように、『聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げる』ということだ。

くれぐれも事務所にこもったり、あなたの群れと共に歩み生きるという神から与えられた名誉から離れることがないように。

## 52. 女性たちを参加させなさい

方々の教会で見かける婦人達は、まるで鉢植えにされた檜の木の様に可能性が生かされていない。これは信者達にとって大きな損害だ。

日曜の礼拝で、前に並んでいるのが全員男性であることが多い。何故女性に聖餐を司らせないか。教会によっては、歌のリーダーさえをもさせないところがある。御言葉を読むの役をさせれば？多くの賜物が引き出されぬままになっている。女性は、素晴しく熱心なホームグループのリーダーになる。

私の場合、排他的ブレザレンの出身だったことから、女性達を聖職に参加させることに目覚めるのが何年もかかった。今は、教会において男性たちの保護と祈りに支えられるならば、女性は男性のすることは何でも出来ると私は信じている。男性の役割は、侵入する敵と戦う為、「門を守る」ことだ。男性は最前線でたたかうべきで、これは女性の役割ではない。しかし、長老会の集まりでは女性が加わることにより、女性の視点がバランスと賢明さをもたらす。多くの場合、男性は女性の考え方が分からない。そして教会の半分は女性ならば、長老達はどうすれば常に適正な決断をせるだろう？

多くの教会での女性の役割が弱い。女性の賜物を育てる余裕を与え、他の女性の規範、霊的母となれる様に成長する場をもうけなければならない。これは教会内の女性の役割を強化することになる。

霊的父、母のいる教会は安定し、健全であることを今迄私は見て来た。

私たちの子教会がある難しい町にある。そこを開拓した若い牧師たちは打ち破りに非常に努力せねばならなかった。彼等は町を離れる時、ひとりの年配の女性に教会を任せていった。最初私は、これはどうなるか、と思った。彼女は説教壇に立ったこともないのに。結果は、教会はすばらしく繁栄し、新しい信者も増え、大きくなった。何故かという、彼女は素晴らしい母親のような人だった。教会員たちを抱きかかえるように、ともに祈り、世話をし、様子を見にゆく。それは見るも喜ばしいことだった。

### 53. 失意から立て籠らないように。

聖職においてがっかりしたり、傷つくことはよくある。あなたが愛し、時間を費やして支えて来た人に他で悪口を言われたりするのが一番傷つく。又、あなたに託された人々の信仰がバックスライドし、がっかりすることもあるかもしれない。

聖職を離れる者の理由の大部分は期待が満たされなかったものである。キリスト教宗派を問わず聖職者の75%は50歳以前に離職する。私は60歳以上でまだ現職の、少数派である。

傷ついたり、がっかりすることはままあるが、それでも私たちは続けねばならない。愛は引っ込んでいるものではなく、あえて何度も出て行って傷つくリスクを冒すものだ。矢が飛んで来たとき、傷を受け、主に傷を癒してもらおう。主はがっかりすることを経験し尽くされている。主はあなたの重荷を背負って下さる。

古い歌、『慈しみ深き友なるイエス』は素晴らしい。続きがある。

What a privilege to carry, Everything to God in prayer! すべてのことを祈って神にゆだねるのは、なんという特権か。O what peace we often forfeit, O what needless pain we bear, なんと平和を我々は失っているか、なんと不要な痛みを我々は負っているか、All because we do not carry Everything to God in prayer! 我々がすべてを、神に祈ってゆだねないゆえなのだ。

もう一つ、昔の歌 Count your blessing one by one, and it will surprise you what the Lord has done 神の恵みをひとつひとつ数えてごらん、主がなさったことに驚くだろう、という歌がある。数少ない悲しみを数えるな。数多くの恵みを数えよ。

## 53. 絶望や希望を失った兆候を見逃すな

イザヤ40:31

人々の問題を扱う牧師はストレスを受けやすい。これは知らぬうちにたまる。その症状は、目的を見失いかけ、霊的鋭さが無くなり、祈るのが重荷になり、人のお世話をするのを負担に感じるようになる。又、人にすぐいらつく、ミーティングが終わってほっとする、など。また、身体的症状も出て来る。私の場合、一番弱い箇所がやられる。胸に疲労感がくるのだ。そういった時、わたしはリラックスする。朝、ガウンのまま、庭の大きな榎の木の下に紅茶を持って行って小鳥達の歌を聴くのだ！すこし引き下がって、楽にすることになっている。

牧師にとって趣味を持つことは大切だ。私は木工と、温室で hidroponics 野菜を栽培するのが趣味だ。聖職の中だけで生活してはならない。美しい庭園や森林を散策するのもよい。

ストレス、特に精神的ストレスに関わる職業に携わる者は、定期的によく運動することが必要だ。私はボートこぎと電動ウオーキングの運動器具を持っている。一日おきに30分運動し、同時に祈って時間を有効に使う。妻のイボンヌは一日おきに泳ぎに行く。

リラックスすることと運動は重要だ
------------------

リラックスすることを身につけなさい。深呼吸することは大事だ。わたしは車を運転したり、寝る前横になった時にこうする。

1. 胸に空気を吸い込む
2. 息を止める
3. ゆっくり10まで数えながら息を吐く
4. これを5分間くりかえす

これは緊張からくる頭痛にもよく効く。

次のことがらも役に立つ。

1. 物事を冷静に受け止める
2. しなければならぬことのリストを作り、用事を手際よく片付ける
3. 机上进行整頓し、仕事場を片付けておく
4. 手紙にはすぐに返事を書く
5. 計画することによりプレッシャーを少なくする
6. 朗らかな心を保つ。真面目すぎにならないで、愉しむこと。

**箴言 17:22** 陽気な心は健康を良くし、陰気な心は骨を枯らす。

## 55. 瑣末なことをするのを怠るほど、偉くなるな。

組織が成長するにつれより多くのことを委託することが必要になるが、あなたは決して瑣末なことをするのを怠るほど偉くなったのではない。熱心がすぎる助祭者などは、キャンプの時等、牧師に皿洗いや野菜切りに配置したりするが、これは牧師が人の世話をする妨げになるので、良いとは思わない。しかし時たま、教会の会合後の片付けとか、庭を掃除する慈善奉仕活動などを手伝うなど、ちょっとした手伝いをするのは良いことだ。手作業を厭うのはいけない。そのようなことを手伝うのはわたしたちにとって自然でなければならず、自分を謙虚に保つことになるので教会の人々にとってもよい。

## 56. 考え方、話し方をプラスに、創意工夫を盛り入れる。

**箴言 18:21** 死と生は舌に支配される。どちらかを愛して、人はその実を食べる。

あなた自身がマイナスな態度であるなら、教会の人々のマイナスな態度をせめてはいけない。私たちの群れの中には、必ず、反動的に応じたくなるような行動をする者がいる。積極的、創意的に人の長所を引き出す応答をするように努力しなさい。

電力では、プラスは高い可能性につながる電流で、マイナスは低い可能性につながる。私たちの電流はどちらに向いているか、問うべきではないか。

牧師は彼が率いる人々の欠けているところよりも、持ち合わせているところを見るようにしなければならない。

自分の「独り言」に耳を傾けてると、あなたの考えがプラスかマイナスか、よくわかるだろう。

## 57. 皮肉な態度、懐疑的態度にならぬよう気をつける

懐疑的：これは真実、事実を疑ってかかる

皮肉：これは、人の真心やよいところを嘲り疑う

クリスチャンは世間知らずであったり、皮肉屋、懐疑的であってはならない。

すべてのことを試すことは大事だ。物事を鵜呑みにする人が多すぎる。例えば、癒しが証明されていないのに、会衆がやんやの拍手をしたりすると、あとでがっかりすることになる。又反対に、事実を信じるオープンさも重要である。

懐疑的、皮肉な態度が性格の一部である時は、悔い改めと習慣を捨てることが必要になる。何かの経験で傷ついたことからそういう性格になったのかもしれない。人に騙されたり、誤った教えの教会にいた経験があったのかもしれない。騙された経験から、否定的に反応する癖がついたのかもしれない。

リーダー達も、人のいうことや、確かでない話に気をつけなければならない。また、聖書に基づいたことがらや教えは、広くキリスト者達のうち、敬虔な教師達に問い合わせるとよい。

## 58. 軽はずみな言葉はひかえること。

あなたの役割が重要なものであればあるほどあなたの言葉は他の者に影響を及ぼす。

**箴言 15:2** 知恵のある者の舌は知識をよく用い、愚かな者の口は愚かさを吐き出す。

ユーモアを交えた気楽な会話がいけないというのではない。しかし、リーダーのうっかりした言葉や人についての意見は他のものにトラブルと苦痛を与えることになる。指導者は言葉に気をつけねばならない。一旦口に出した言葉は引っ込められない。それは風の強い日に羽枕の羽を庭に撒き散らしてから、拾い集めようとするようなものだ。

ヤコブは言っています。『船を御覧なさい。あのようによくても…舵取りは、ごく小さい舵で意のままに操ります。同じように、舌は小さな器官ですが…どんなに小さな火でも大きい森を燃やしてしまう。』重要な者ほど、その言葉はよくも悪くも広く伝わる。

## 59. 教えを受け、人の願いに耳を傾けることを怠るな

私たちは歳とともにいかに自分が知らないことが多いかということに気がつくものだ。心をオープンに人に耳を傾けなさい。人に耳を傾けない、自己満足している人は醜い。

謙虚な人は訂正受けることにオープンだ。一時私は終末予言について、強い意見をもっていましたが、人に耳を傾け思い返すことを学ぶにつれ、私の意見は全て正しい訳ではなかったことがわかった。



自分のやり方や、性格の欠点への訂正を受けるのは柔軟性を要する。耳を傾け、自分を変える事を厭わないことが要求される。わたしの助祭のひとりは、わたしが高慢だと言った。教会の者のほとんどはその反対意見だと思うが、私は自分の心が分かっているの、彼の言った事から学び、自分を弁護はしなかった。慢心はまことに油断ならず、心に潜んでいる。私の心にも潜んでいるし、あなたの心にも潜んでいるかもしれないよ！

在る牧師は、「知識の言葉」で、同性愛者といわれた。彼は猛烈に自己弁護し、謝罪を求めた。あきらかに彼は同性愛者ではなかった。代わりにこのように言った方が良かったろう。『あなたの誤った言葉と判断は、私を損ね、私に近しい者を傷つけるものだ。しかし私の評判は常に正しい神の掌中にある。私は自己弁護する必要は無い。』

## 60. あなたが受け持つ人々を愛せよ

ヨハネ**13:1** 『イエスは、... 弟子たちを愛して、この上なく愛し抜かれた。』

私たちは、受け持っている人々に、愛している事を伝えなければならぬ。同時に、その愛は感傷的なものか、本当のものなのかよく自分を顧みなさい。自分の教会に来る人を愛し、彼らが来なくなったときに愛するのをやめるのは容易いことだ。

わたしたちは彼等を実際的な形で愛を示すべきだ。例えば、もてなしたり、何かの折にはカードを送るとか、必要があったときにふさわしい本を送るなど。

誰かが気に入らない事をしたり敵対したりしたとき、愛するのをやめるのは容易い事だ。そのような時は、私たちは意志をもって彼等を愛し、愛着と許しと共に祈りで彼等を主のもとに捧げなさい。

## 61. パワーを求めるあまり人格と高潔さを犠牲にしてはならない

詩篇 **78:72** 『彼は無垢な心をもって彼らを養い／英知に満ちた手をもって導いた。』

テトス **2:7-8** 『教えるときには、清廉で品位を保ち、非難の余地のない健全な言葉を語りなさい。そうすれば、敵対者は、わたしたちについて何の悪口も言うことができず、恥じ入るでしょう。』

私たちはイエスが常に示したような神のパワーを見たいと願っている。パワーの賜物は教会を祝福するものだ。しかしそのために高潔さや人格をないがしろにすると、パワーを失うばかりか、危険を生じる場合がある。この世のテロリスト達に見るように、彼等は爆弾を持っていて、それを高潔さなしに用い、悲惨な結果をもたらす。キリストを信じるものの中で、余りにも多くのパワーの賜物のある人々が破滅の身になり、その結果人々は散りじりになり、あるいは傷つき、失意に終わっている。

私の知っていた若い男は水上を歩く野望を持っていた。彼は成功することはなかったが、数々の奇跡を行った。残念な事に彼の人格に大きく欠けたところがあったので、今日彼はバックスライドしてしまっている。

## 62. 休日を持って

私たちは休日を持つように出来ている。これは私たちの心理と生理に組み込まれている。休まなければ、いつかおつりが来る。全く違った環境が必要だ。ゴルフ、（病みつきにならないように）テニスもいい。妻はショッピングというだろう。私にいわせればこれは大文字のストレスに通じる！しかし、リラックスして彼女の為に楽しむ事にするなら、ショッピングでさえ良い気分転換になる。

わたしは木彫をはじめよう主からの言葉を授かったと思う。創造性のある人は、それを使わなければ緊張につながる。ある女性はすばらしい芸術的才能を持ち合わせているにも関わらず、神がそれを手放すように言われたと思い込み、挫折した天才となってしまった。彼女は拒否し、よけい苦しんだ。神は私たちを祝福する為に才能を与えた賜うた。

友達を連れて郊外へドライブしなさい。他の牧師達と一緒にしても良いが、教会の話ばかりしないように。私や他の牧師達は月曜日休みをとる。日曜日一日中人々に奉仕をした後発散できるので、私は月曜日が好きだ。その日が楽しみなので、日曜日が楽しく過ごせる。

家の周りで用事をいろいろして過ごすのも好きだ。彼女は庭師でわたしは色々物をつくる方だ。

## 63. 人をもてなさない。イザヤ58、1テモテ3:2

御言葉と照らし合わせ、めったに人をもてなす事をしない牧師がいることは理解に苦しむ。長老の必要条件は人をもてなす事どころか、もてなすことが病みつきになっていなければならない。

もてなしは人々に祝福を与える。家族としてのきずなを作り出す。また、新たに教会に入って来た人たちにはその一員としてよいスタートを与え、あなたの普段の姿でふれあう機会を与える。

もてなしは私たちを通じて現される神の心だ。あなたがリーダーとして模範を示せば、人々ももてなすようになる。そして教会が暖かく家族的なものになる。

今日各家庭が孤立し人を疎外しがちなのは悲しい事だ。これは現代の自己中心の現れである。クリスチャンは異なるのでなければいけない。

私の育った家庭は客をもてなす余裕は無かったが、私の両親は週日食事を抜いて人を食事に招待した。その結果、豊かな主の恵みがあった。全てに恵まれるのを待つな。ものがなければ客に箱に座ってもらい、食べ物を持ってくるように頼みなさい。

## 64. 特権を乱用するな（例えば物品販売など）

牧師とは非常に特権のある役割だという自覚を持ちなさい。我々は私たちに信頼してくれている素晴らしい人々の僕であり、従って自己利益の為にこれを利用してはならない。自分が率いる人々に物品販売をしたりすると、利益追求の告発を受けたり、教会員達の信頼を失う危険を生ずる。今迄私は多くの牧師が賢明な人なら首を傾げる様な販売戦略にはまり込んでいるのを見て来た。そのような商品や仕掛けにすっかりはまってしまい、自分の行動がどれだけの害をあたえているか分からなくなる。時には買った商品が見かけほどよくないことが分かった人たちと、関係がまずくなってしまう。

又、牧師が利益追求にはしると、目的が分裂してしまい、人々のお世話をする時間とその効率が半減されてしまう、という問題がある。

新しい仕事を始めるときは、商品売買も必要な場合があるだろう。また、教会員の中には、商品を解体費ともいえるかもしれない。これは牧師としての立場を悪用する事が無い限り問題は無い。

会員が百人以上の教会は外で仕事をせずともまずまずの給料がでるだけの収入になるはずだ。百人以上の人々がいれば、牧師はその群れのお世話に非常に忙しくなるはずだ。

物欲しさは醜いものだ。特にそれが神の僕に見られるときは。神と人々の前に正しい心で常に歩もうではないか。